



日本最西端の島

日本最西端の島
よなぐに

与那国町 町勢要覧
2020



与那国町 町勢要覧 2020

発刊にあたって



与那国町は、沖縄本島から南西へ509キロ、台湾とは111キロの至近距離に位置する日本列島最西端、一島一町の自治体です。

1477年に朝鮮人が与那国島に漂着し、島の模様を記した資料から与那国島の歴史を窺い知ることができます。50年におよぶ日本の台湾統治は、終戦後も「密貿易」という形で継続し、島の繁栄と人口急増をもたらし、昭和22年(1947)、人口5719人で与那国町に昇格しました。

経済都市から遠隔地にある本町は、人口は減少の一途をたどり、現在では約1700人余が島で暮らしています。

町制施行から、今日までを顧みますと、昭和35年の与那国製糖株式会社の設立や昭和52年の町内電話自動ダイヤル化は、生活水準の向上に大きな影響を与え、町民に豊かな暮らしをもたらしました。また、同年、ベトナム難民が与那国島に漂着したことは、国境ならではの出来事であり、深く心に刻まれております。

美しい自然や、変化に富んだ景観に恵まれた島は、世界最大の蛾・ヨナグニサンや天然記念物の与那国馬の生息地でもあります。また、「与那国島の祭事における芸能」は国の重要無形文化財に指定され、その継承に取り組んでおります。

本町は、少子高齢化や過疎化、地方分権等の時代の変化に対応した島づくりを目指します。

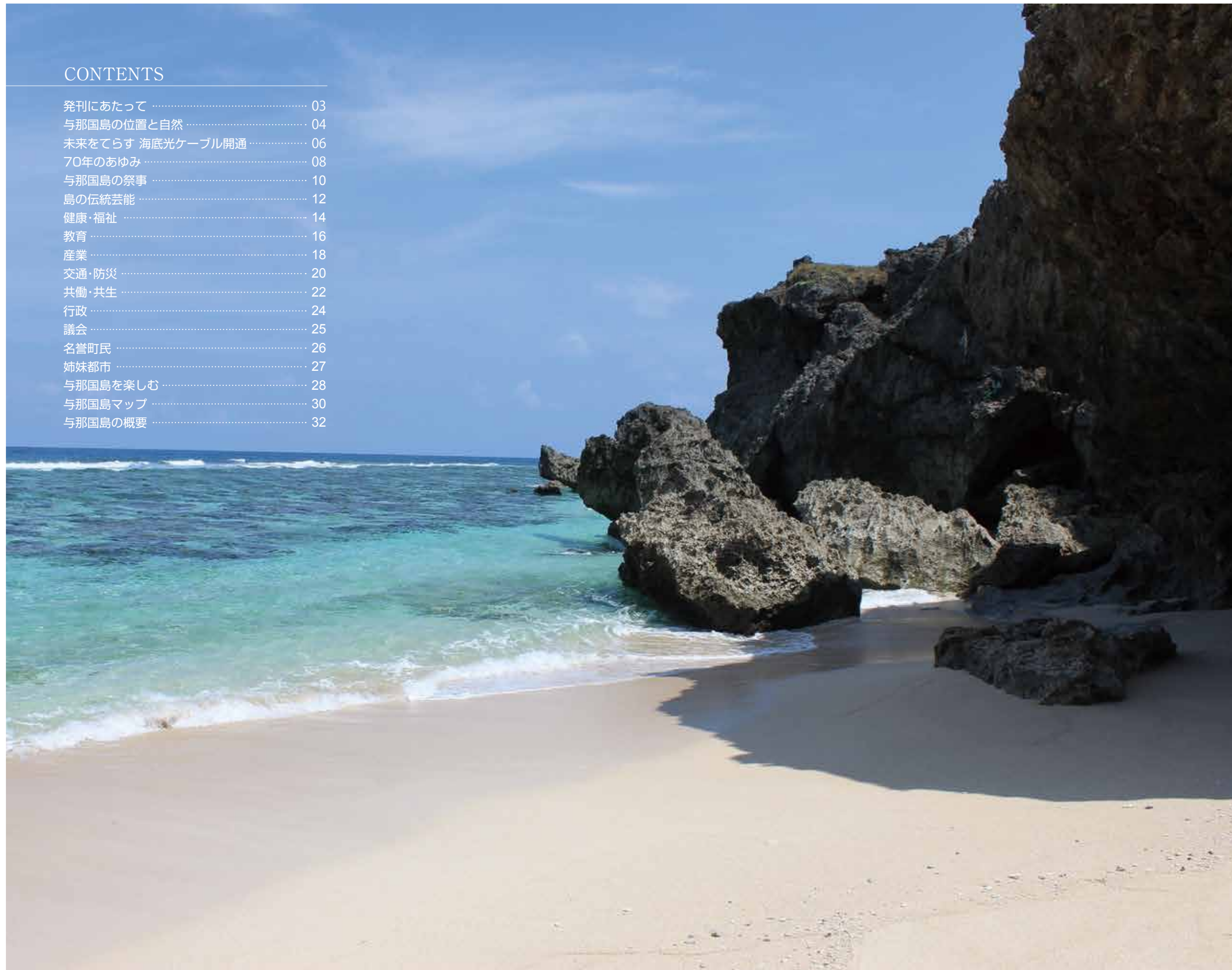
与那国島にも平成29年1月に沖縄本島から海底光ケーブルが開通し、情報格差の解消につながる条件が整いました。このことは、観光、教育、医療、福祉、防災等様々な分野で離島苦(しまちゃび)が解消され、移住者やUターン者が増え、島が活性化すると期待している所です。

与那国町をご理解いただくための資料として、ご活用いただければ幸いです。

与那国町長 外間 守吉

CONTENTS

発刊にあたって	03
与那国島の位置と自然	04
未来をてらす 海底光ケーブル開通	06
70年のあゆみ	08
与那国島の祭事	10
島の伝統芸能	12
健康・福祉	14
教育	16
産業	18
交通・防災	20
共働・共生	22
行政	24
議会	25
名誉町民	26
姉妹都市	27
与那国島を楽しむ	28
与那国島マップ	30
与那国島の概要	32





ヒカゲヘゴ(バランスキ)

南牧場



日本最西端の碑

久部良集落

小さいけれど 与那国

ダイナミックに浮かぶ島



祖納集落

与那国町役場

東崎展望台

軍艦岩

立神岩

Dr.コトー診療所

比川集落

ヨナグニサン(アヤミハビル)



ティンダバナからの眺望

与那国島の位置と自然

与那国島は、北緯24度27分、東経123度00分に位置し、沖縄本島から南西へ509 km、石垣島から南西へ127 km離れていますが、台湾とは111 kmの至近距離にある黒潮本流の中に鎮座する日本最西端の国境の島です。

東西12 km、南北4 km、面積は28.96 km²と東西に細長く、周囲27.49 kmの海岸線は急峻な断崖が多く深海に面する一方、島のほぼ中央に宇良部岳(231.3 m)、久部良岳(194.6 m)がありアヤミハビルなどの貴重な動植物が生息しています。

島には3つの集落があり、北側には、役場、診療所があり島の中心地となる祖納集落、西側には漁港を有する久部良集落、南側にはDr.コトー診療所のロケセットがある比川集落があります。各集落には、受け継がれる伝統行事など3集落それぞれの個性ある文化が息づいています。

未来をてらす 海底光ケーブル開通



通信制高校の実証実験

高校のない与那国島では、子どもたちに15の春がやってきます。そこで、高等教育の可能性を検証する実証実験が行われました。

沖縄本島と各離島を結ぶ情報通信基盤海底光ケーブル（伝送中継路）の陸揚げ工事が平成28年12月に完了し、平成29年1月、「離島地区海底光ケーブル開通記念式典」（沖縄県主催）が開かれました。高速大容量、高品質、かつ障害に強い通信基盤が構築されたことにより、沖縄本島都市部と変わらないインターネット環境、モバイル通信環境の実現が可能となりました。強固な通信基盤が完成したことは、防災、定移住促進など離島振興の大きな力となることが期待されます。

式典では、与那国小学校の児童と沖縄県知事とのテレビ会議が行われ、児童らは、インターネットの普及による未来の与那国島を想像し発表しました。「もしかしたら、高校や大学、専門学校の進学を考えると、インターネットを活用した通信学校ができるかもしれません。



海底光ケーブル開通記念式典

そうなれば、島を離れない人もいて若い人が増えるかもしれません」「もしかしたら、インターネットで仕事ができ、島外から働く人が来たりと人口が増えていくかもしれません」「もしかしたら、大きな病気になっても、石垣や那覇の病院にいかなくても治療できるかも。そうなれば、安心して暮らせるから、もしかしたら住む人、赤ちゃんを産む人が増えるかもしれません」

高校設立が難しい小規模離島では高校進学による人口の流出や経済的な負担は長年解決されない課題とされています。その課題の解決に向けての第一歩として与那国町では琉球大学、内閣府の協力のもと、情報通信技術（ICT）を使って小規模離島での高校設立の可能性を検証する実証実験を平成29年8月に与那国中学校の多目的教室と琉球大学のキャンパスを結んで行われました。

夏休みで帰省している町出身の高校生総勢9名が参加し、最新のICT機器を使って、琉球大学側にいる講師の方と双方向で行う遠隔授業を実施しました。大型スクリーンで行う授業は臨場感たっぷりです。中学校側からは、本当にその場に講師の方がいて授業を行っているように感じられました。実験に協力し

てくれた高校生からは「島に高校ができることで後輩の将来の選択肢が増える事はいいことだと思う」など、高校設立に向けて前向きな意見が聞けた一方、「スクリーン越しでは生徒の手元が見えないので授業中の落書きがバレない」というような生徒目線での遠隔授業の課題点についての意見も飛び出しました。

この実証実験は平成29年度から平成31年度まで3回開催し、年度ごとに検証委員会を通して高校設立の可能性を検証していきます。

実証実験以外にも平成29年の秋より与那国町の学校同士をICT機器で繋ぎ複式学級解消を目的とする合同授業を実施します。最先端技術を使用し、与那国町の教育環境の改善・発展を目指します。

海底光ケーブル開通記念式典





JTAの前身の南西航空機
1969年(昭和44年)頃



機上から見た与那国空港の歓迎式典会場
1967年(昭和42年)頃



渡り初めロングショット
1981年(昭和56年)頃

これまでの あゆみ

1947年(昭和22年)12月1日町制

- 1947年(昭和22年)
 - 12月1日 与那国町へ昇格。
- 1949年(昭和24年)
 - 8月24日 ヘイズ道路工事竣工(現在の県道216号線)。
- 1952年(昭和27年)
 - 5月 教育委員制度発足。
- 1953年(昭和28年)
 - 5月 久部良、比川公民館発足。
 - 12月 与那国一円の消防隊結成。
- 1958年(昭和33年)
 - 10月 与那国町体育協会設立。
 - 12月 新造船「白洋丸」定期航路に就航。
- 1959年(昭和34年)
 - 1月 祖納から久部良間に米浜運輸のバスが運行を開始。
- 1960年(昭和35年)
 - 4月 久部良簡易水道竣工。
 - 7月 祖納簡易水道竣工。
- 1961年(昭和36年)
 - 3月 無縁電話開通。
- 1964年(昭和39年)
 - 6月 日本政府援助のもとに久部良漁港浚渫工事に着手。
- 1965年(昭和40年)
 - 2月 与那国飛行場完成。エア・アメリカ機就航。
- 1967年(昭和42年)
 - 2月 与那国製糖株式会社、台湾から48名の労務者を導入。
 - 4月 住民待望の全島電化実現。
 - 7月 久部良漁港整備工事完了。300トンの大形船が接岸可能になる。
 - 7月 エア・アメリカに代わって南西航空が就航する。
- 1982年(昭和57年)
 - 4月 外間守之町長一行 友好都市締結準備のため、中華民国台湾省花蓮市訪問。
 - 10月8日 与那国町・台湾省花蓮市姉妹都市締結調印式・祝賀会挙行。
- 1984年(昭和59年)
 - 4月 与那国消防防災無線局開局。
- 1985年(昭和60年)
 - 3月 入仲誠三町長、施政方針演説の中で、「非核平和宣言の町」を宣言。
- 1986年(昭和61年)
 - 4月 与那国町離島振興総合センター落成。
 - 11月 町内で初めて「交通信号機」設置。
- 1987年(昭和62年)
 - 4月 町花「ユリ」、町木「クバ」、町鳥「メジロ」、町魚「カジキ」、町花木「サルスベリ」を指定。
- 1993年(平成5年)
 - 12月16日 八重山郡、民放テレビの放送開始。
- 1999年(平成11年)
 - 4月 イベント広場落成式。
- 2000年(平成12年)
 - 7月 那覇ー与那国間直行便就航(琉球エアコミューター社)。
 - 12月 防災無線通信施設500戸設置(祖納地区)。
- 2002年(平成14年)
 - 7月 ヨナグニサン展示資料館(アヤマハビル館)落成。
- 2004年(平成16年)
 - 10月 「島の将来を考える町民大会」開催。
- 2005年(平成17年)
 - 3月 「与那国自立へのビジョン」を与那国町長へ答申。
- 1968年(昭和43年)
 - 6月 与那国、久部良漁協が合併し、与那国町漁業協同組合として再発足。水産物の冷凍輸出信用事業等を開始。
- 1969年(昭和44年)
 - 12月 与那国町役場庁舎竣工。
- 1971年(昭和46年)
 - 1月 与那国空港ターミナル完成。
 - 2月 与那国小学校体育館、並びに学校給食共同調理場が落成。
 - 8月 与那国町消防庁舎完成。
- 1972年(昭和47年)
 - 4月 町立診療所落成。与那国町農業委員会が発足。
- 1976年(昭和51年)
 - 9月 町議会、自衛隊配備要請を議決。
 - 1月 祖納港築港起工式。花火を打ち上げ起工を祝う。
- 1977年(昭和52年)
 - 2月 久部良漁港防波堤灯台点灯。
 - 2月 町内電話自動ダイヤル化。
 - 5月 ベトナム難民漂着。難民27人、町民の手厚い保護を受ける。
- 1978年(昭和53年)
 - 8月 「与那国まつり」開始。
 - 7月 沖縄県の交通法変更される。右側通行が左側通行に。
- 1979年(昭和54年)
 - 4月 西崎展望台完成。
- 1980年(昭和55年)
 - 8月 与那国町初の町営住宅完成。
 - 5月 与那国簡易水道浄水施設が完成。
- 1981年(昭和56年)
 - 7月 祖納港開港。
 - 11月 与那国町保健指導所新庁舎落成。
- 2006年(平成18年)
 - 4月 ADSLサービス及び、ブロードバンドサービス開始。
- 2007年(平成19年)
 - 4月 与那国町リサイクルセンター稼働、ゴミ分別収集開始。
 - 10月 台湾・台北ー与那国間チャーター便初就航(128人の訪問団台湾へ。花蓮市姉妹都市25周年記念式典開催)。
- 2009年(平成21年)
 - 6月 戸籍事務電算化稼働。
- 2010年(平成22年)
 - 9月 与那国太陽光発電実証研究設備竣工。
- 2011年(平成23年)
 - 2月 与那国町複合型公共施設落成。
- 2014年(平成26年)
 - 12月 比川地域共同売店オープンセレモニー。
- 2015年(平成27年)
 - 6月2日 祖納保育所開所。
 - 7月1日 ケアセンターがんでう開所。
- 2016年(平成28年)
 - 4月8日 与那国駐屯地建築地鎮祭。
 - 9月28日 台風21号襲来。最大瞬間風速81.1m。島内全域に甚大な被害をもたらす。
- 2017年(平成29年)
 - 1月15日 与那国町新製糖工場落成。
 - 3月18日 RAC新機種お披露目。
 - 3月28日 陸上自衛隊与那国部隊新編に伴う隊旗授与式。
 - 7月5日 十山御嶽完成、引き渡し式。
 - 9月23日 与那国町歴史文化交流資料館(DiDiー与那国交流館)会館式典。
 - 1月10日 海底ケーブル開通記念式典。

終戦と同時に与那国と台湾とのあいだには、

国境線がひかれました。

日本の台湾統治から50年続いた与那国と台湾の交流は、

終戦の混乱に乘じ、「密貿易」という形で継続し、

島につかの間の繁栄をもたらしました。

島の人々に、引揚げ者、商人、外国人も加わり、人口は急増。

町昇格を決定的にしました。



田原川下流で洗濯する女たち
1958年(昭和33年)頃



突き船が見える久部良漁港
1965年(昭和40年)頃

「うぶはなり(大離れ)」
「ぐまはなれ(小離れ)」
1958年(昭和33年)頃



祖納港開港式での渡り初め
1981年(昭和56年)頃



祖納ー久部良ー比川を走り住民の足となった米浜運輸のバス
1969年(昭和44年)頃



さとうきび増産を呼びかけパレード
1981年(昭和56年)頃



与那国製糖株式会社の開設を記念してのパレード
1960年(昭和35年)頃



波多浜で与那国馬に砂を積み子供たち
1964年(昭和39年)頃



アラミデー

旧暦8月に宇良部岳のふもとの田原にある祈願所で、田原の旧水と新水の取替えを行い、豊作であることを祈願します。これが一年の初めの祭事です。



ムヌン

虫祓いを行い、丈夫な穂が実るよう田植えから収穫までに4回祈願されます。

小舟に害虫とごちそうを乗せ、「この島よりあの島の方がごちそうがありますよ。」と声をかけながら海に流し駆除します。ごちそうを乗せるのは、道中困らないように虫たちの食糧です。

五穀豊穡の 祈願



アミウリ

収穫を無事に終えたので、雨も風も吹いてもいいことを知らせるための祈願で、豊年祭の前の吉日に行われます。



ウガンフトウティ(豊年祭)

毎年旧暦の6月に行われるウガンフトウティ(豊年祭)は、五穀豊穡に感謝し一年間の祈願を解き、来年の豊作を祈願します。各集落で祈願されます。「ウガンフトウティ」とは、与那国の方言で「願いを解く」という意味です。祖納豊年祭では、二年に一度、大綱引きが行われます。豊漁と豊作を願い、東西に分かれた町民・観光客が引き合う大綱引きは迫力があります。祝賀会が行われる十山御嶽には各部落の旗頭が集まり、また各部落による伝統芸能が奉納されにぎわいます。日が沈む頃にウガンフトウティは、ドンタ(まき踊り)で幕をとじます。



十山御嶽

与那国島にある13の御嶽の本山である十山御嶽。平成27年に襲来した台風により甚大な被害を受け、建て替え工事が行われました。建て替えにあたり、町民の方々や企業、島外に住む郷友から多くの寄付がよせられ、平成28年7月5日十山御嶽が完成することができました。

与那国島の祭事

与那国島には、五穀豊穡や航海安全・豊漁・子孫繁栄を祈願する祭事がしっかりと根付いています。



久部良集落では、旧暦5月4日(ドゥガヌヒ)に豊漁と航海安全を祈願し、爬龍船競漕が行われます。久部良集落が北・中・南の3つに分かれ競います。祭を祈願する御願ハーリー、サバニの復元力を競う転覆ハーリー、沖合で舟の安定性とスピードを競う上りハーリーが行われます。



航海安全・豊漁祈願



島の伝統芸能

与那国島の芸能文化は、棒術、舞踊、組踊、獅子舞…と多彩です。1985年(昭和60年)、国の重要無形文化財に指定されました。ンヌン(大鼓)、カニン(ドラム)、フィ(笛)の音にのせ、しなやかにそして勇壮に舞う姿は、子どもたちの心をおどろかせ魅了します。

いつしか、この子どもたちに引き継がれることでしょう…



舞踊



シティ



豊年祭御神輿パレード



棒踊



海神祭 旗頭ガッサイ



久部良青年会によるエイサー



金刀比羅祭奉納相撲



祖納青年会によるスルブディ





チャレンジデー



福祉まつり



福祉まつり



食育推進事業



生涯にわたり心身ともに健康で豊かに生きるためには、食材や栄養に関する知識や基本的な調理技術などを身につけることが必要不可欠です。そこで、住民を対象に行った食育についてのアンケート調査をもとに「食育推進計画」を策定しました。関係機関・団体と連携し、食育活動を町民運動として一体的に推進します。



- ① よく動き良く食べる
- ② 長く健やかに
- ③ くらしの中に知恵と工夫
- ④ にぎやかに共に食べよう島の味

健康・福祉

与那国のまちづくり

高齢者の福祉対策とし、地域包括支援センターを中心に、介護予防策を展開します。社会福祉協議会や診療所、ボランティア団体などと連携し、ひとり暮らしの高齢者への配食サービス、ミニデイサービス、見守り体制などを強化し、町民が健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる長寿社会の実現を目指します。

また、住民が病気にかけにくい体づくりを進めるため、適切な情報提供と気軽に参加できるイベントや啓発事業を実施しています。

子どもを安心して産み育てることができるよう、妊娠から出産までに必要な渡航費を助成しています。また、経済的な負担軽減を図るだけでなく子育ての不安解消につながるよう、子育ての相談窓口を設置しています。

与那国のまちづくり 教育

人材を育て つなぐ交流のまち



空飛ぶ図書館読み聞かせコーナー



台湾・花蓮市への小学生のホームステイ

島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めることで国際的な広い視野と豊かな国際感覚を身につけた人材育成を目的として、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイ、中学生を対象に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を実施しています。

小中学生を対象とする家庭学習支援のため、Web会議システムを

用いたオンライン双方向授業の「町営学習塾」を実施しています。授業は、現役東大生を講師とし、教育環境格差の大きい離島の地において中央と同じ授業を受けることが可能な環境を提供しています

町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を支援し、与那国島に住む子どもたちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を確保しています。貴重な経験を得ることができ、本町の未来を拓く子どもたちの能力向上をはかります。



空飛ぶ図書館 本の設置を手伝う与那国中学校の生徒たち



少年陸上大会



オンライン双方向授業の町営学習塾



産業

与那国のまちづくり



クシティ(ゴリアンダー)栽培

いきいきと働けるまち

本町の農業は、さとうきび作を中心に、水稻、長命草、クシティ(コリアンダー)の生産が盛んに行われています。さとうきび振興については、機械化農業の実施に向け、小型

ハーベスターを導入します。さらに、優良種苗の確保及び農家への普及を図ります。平成28年1月には、沖縄振興特別推進交付金を活用し、新製糖工場が完成しました。旧工場

では作れなかった粉状糖の製品化も可能となり黒糖製品の多様化が図られます。
また、クシティ(コリアンダー)については、12月第2日曜日をクシティの日と定め、商標登録を申請し、与那国島独自の野菜として戦略作物指定に向け加工品開発を推進します。

近年漁業従事者の高齢化が進む中、島内外から次世代の担い手を育成することが課題となっています。「与那国町漁業担い手育成プラン事業」にて漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出などを実施し漁業経営の安定化を目指します。

畜産業では、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進するとともに、肉用牛の資質向上を目指します。「優良繁殖雌牛導入事業」にて畜産農家に優良繁殖雌牛購入費用の一部支援を実施しています。



長命草

平成28年1月 新製糖工場完成



ふるさと納税の財源により設置された「ばんだダウン島基金」を活用し、与那国島の地域振興・環境の保全・改善を目的に実施する、「どうなんまちづくり活動」や、与那国町の新たな雇用創出に向けて実施する、「どうなん活性化事業」を企画する個人や団体に助成を行っています。



八重山家畜市場初セリ



お魚フェア



漁協 出荷の準備



チャーター便フジドリームエアラインズ就航

日本最西端の島として、より多くの観光客に訪れてもらうため、チャーター便の誘致を積極的に行っています。平成29年3月にはFDA(フジドリームエアラインズ)が企画するチャーター便が就航し、約1200名もの旅行者が与那国島を訪れました。



出初式



消火訓練

平成28年4月から119番通報の運用が本格化されました。GPS機能を活用したシステムにより、通報者の位置特定が容易になり消防団の火災、救急搬送の迅速化に繋がっています。

本町では、役場職員が中心となり消防団が組織されており、日常の救急搬送や災害時の救助・消火活動にあたっています。消防団員の技術向上を図るため、沖縄県消防学校への入校を実施しています。平成29年3月には、原野火災に特化した新型消防車が導入され、迅速な消火活動が行える体制を整えました。



航空機事故消火救難訓練



AEDを利用した心肺蘇生講習会



新型消防車



交通安全運動 久部良小学校児童による鼓笛隊パレード



秋の全国交通安全運動



与那国のまちづくり 交通・防災

琉球エアコミューター新機材 DHC8-Q400CC

写真提供：琉球エアコミューター株式会社



与那国―石垣―那覇間を結ぶ貨物船 陽光丸

「安全・安心に 暮らせる島づくり」

島を結ぶ航路・航空路は、住民の生活や地域経済にとって重要であり、また都市圏との交流、物流、観光、産業活動に大切な役割を果たしています。平成26年には、与那国―石垣間を結ぶ「フェリー」なくなりが新しくなりました。また平成29年には、航空路である琉球エアコミューターが新機材となり、航路・航空路ともに貨物の積載量が増え、課題となっていた積み残し等の問題が解消されました。



与那国―石垣間を結ぶフェリー「よなくに」

与那国のまちづくり

共働共生

「自治と自立のまち」

少子高齢化や世帯構造の変化など、つながりの希薄化が進む中で、環境、防犯、防災などにおいて各自治公民館では対応できない地域課題があり、また住民のニーズも多様化・複雑化しています。地域、事業者・各種団体及び行政においては、様々な課題に主体的に対応していく自立性の確立が求められる中、平成28年3月には、陸上自衛隊与那国駐屯地が配備されました。イター・Uターン者をはじめ、自衛隊員・隊員家族との繋がりは大切であり、地域住民一丸となった共働共生の



まちづくりが必要になります。地域社会に関心をもち、自治公民館や地域づくりの活動、ボランティア活動に積極的に取り組むことが求められ、住民が活動に取り組みやすい施策・場の提供を推進します。

平成28年9月には、与那国島歴史文化交流資料館がオープンしました。愛称は、「Didi与那国交流館」です。「行こう」という意味の与那国語「でい」を重ねた「でいでい」は「さあ、行こう。そこへ行こう!」と、多くの人がこの施設へ足を運び、集うことをあらわしています。Didi与那国交流館から、島内外の多くの人の輪が広がり、多くの交流が生まれることを願い建設されました。

祖納集落東地区に地域住民の憩いの場や高齢者の寄合所として「東地区どうらいどうぐる施設」が開館しました。



飛躍の会によるクリスマスパレード



ハッピーハロウィン



どうらいどうぐる施設



町陸上・少年陸上 合同開催

議会



与那国町議会は、町民の代表として選ばれた10人の議員(定員10名)で構成されています。町の意思の決定する機関として、年4回開かれる定例会と必要に応じて開かれる臨時議会があり、町民の声をまちづくりに反映させていくよう努めています。



議長 前西原 武三



副議長 崎元 俊男



與那霸 英作



与那原 繁



田里 千代基



大宜見 浩利



杉本 英貴



嵩西 茂則



崎原 敏功



金城 信利

行政

「健やかな自然・人・生活を育む島」



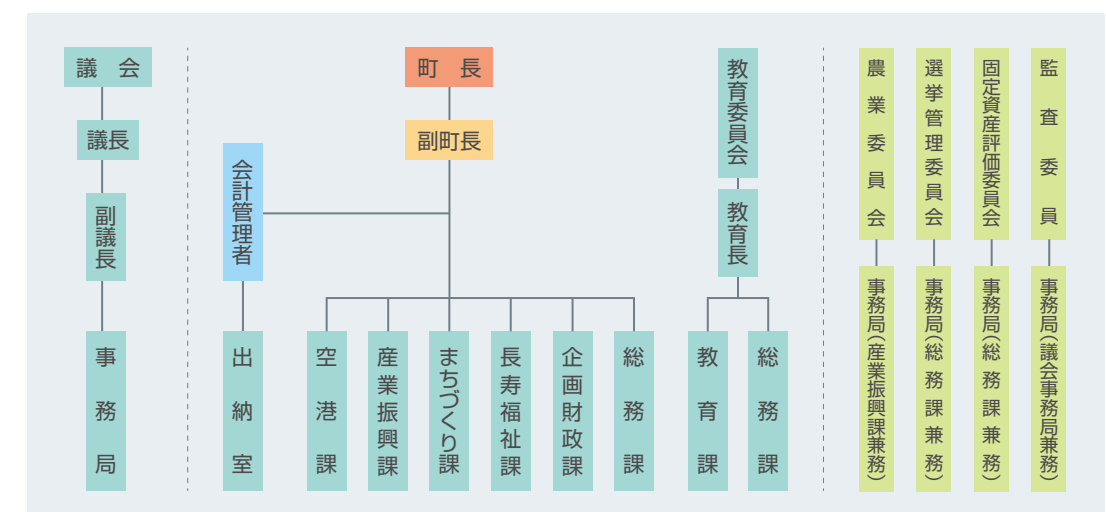
与那国町の将来像

離島であるという不利な条件を克服することは、行政の最大の課題であります。この課題を乗り越えるため、基礎的條件の整備、生活環境の改善、社会福祉の充実、教育文化の向上、産業の振興などを力強く推し進めてまいります。

本町は次の6つの「ドゥナン」の将来像を設定し町政を運営しています。

1. いきいきと働けるまち
2. 癒しと安心のまち
3. 人材を育て・つなぐ交流のまち
4. 循環と共生のまち
5. 海を守り、支えるまち
6. 伝統文化に支えられた自治と自律のまち

与那国町組織図



姉妹都市

平成29年、姉妹都市締結35周年を迎えました。

「与那国町と花蓮市は両市町の古来の友好交流を基礎の上に両地と両住民の親善友好関係をさらに発展させるため双方は一致して姉妹都市締結に同意する。両市町は積極的に経済、貿易、文化、産業、教育などの交流をおしすめ両市町の繁栄を図り、両地住民の世々の代に亘る親善友好のために積極的に貢献することを確認する。」
(与那国町、花蓮市姉妹都市締結盟約より)



花蓮市長 魏嘉賢氏

姉妹都市
中華民国
花蓮市

昭和57年10月8日、与那国町と花蓮市は姉妹都市盟約を締結しました。以来、友好交流を深め両市町の発展につとめています。



名誉町民



故 原 繁 氏

顕彰式 平成2年10月1日

明治41年 伊平屋村で出生。
大正12年 与那国島へ移住。16歳で漁師となる。以後82歳までの60年余を漁師として活躍。
平成2年 ドキュメンタリー映画「老人と海」の主人公として多くの人々に深い感銘を与え、また、この映画を通じて与那国島を広く内外にアピールしました。その功績を称え、名誉町民の称号が贈られました。



故 西銘 順治 氏

顕彰式 平成3年5月2日

大正10年 与那国村で出生。
昭和23年 東京大学法学部政治学科卒業。
// 29年 琉球立法院議員当選。
// 37年 那覇市長就任(2期)。
// 45年 衆議院議員当選。
// 53年 沖縄県知事就任。
【功 績】
大型製糖工場の誘致、建設、施設改善をはじめ与那国空港整備の実現などに尽力、与那国町の発展に対する多大な功績が認められ、名誉町民の称号が贈られました。



宮良 康正 氏

顕彰式 平成14年11月20日

昭和15年 与那国村で出生。
// 30年 与那国中学校卒業。
// 44年 NHKのど自慢全国大会「民謡日本一」を獲得。
平成11年 沖縄県指定無形文化財「八重山古典民謡」保持者認定を受ける。
// 13年 沖縄県文化功労賞受賞。
【功 績】
八重山古典民謡の普及・向上に寄与され本町の文化発展に尽力、その功績が認められ名誉町民の称号が贈られました。



日本最西端与那国島一周マラソン大会



「日本最西端・国境の町を走ろう」をキャッチフレーズに毎年11月第2土曜日に開催されます。25キロコースと10キロコースがあり、自然豊かな与那国島の景観を楽しめます。県内外から参加されたランナーの皆さんとの交流を目的に大会閉会後にふれあいパーティーがひらかれます！！



与那国島にはたくさんの珍しい生き物もたくさんいます。

コトコトゆられて気持ちもおどる与那国馬の乗馬体験



Photo by ANDO



ハンマーヘッドや海底遺跡を
みることができるダイビング

Photo by ARATAKE



日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会

与那国町のビッグイベントで毎年7月に開催されます。3日間にわたり行われるこのイベントでは、乗馬体験や海底遺跡ツアー、闘牛大会などが楽しめます。夜には、与那国島の伝統芸能やライブなど、盛りだくさんのアトラクションがあり会場は熱気に包まれます。最終日には、大会名物カジキの丸焼きが来場者へふるまわれます。

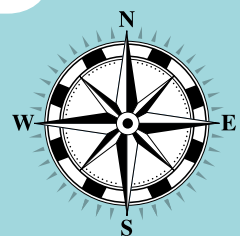


与那国島を楽しむ



与那国島マップ

YONAGUNI ISLAND MAP



資料編

1. 位置・面積・気象
2. 人口推移
3. 行政
4. 財政
5. 福祉
6. 教育
7. 農林業
8. 漁業
9. 環境美化
10. 文化・芸能
11. 町内官公庁その他の機関
12. 与那国のあゆみ



町章

与那国町の文字をひとまとめにして
本町の明るい伸びゆく姿を表徴している。
1965年町民から応募し、100点の作品から選ばれたもの。
昭和40年7月1日制定



ヨナグニ馬(与那国町指定天然記念物)

与那国島で飼育されてきた在来馬。体高は110cm～
120cmと小型で、ポニーに分類されます。毛色は鹿毛が
中心で、古くから乗用などに利用されてきました。



町の花

ユリ【テップウユリ】(ユリ科)

海岸近くの岩場から山裾の原野にかけて見
られる多年草。沖縄で「ユリ」という場合は
この種のことをいいます。春、芳香のある純
白色の美しい花を咲かせます。与那国島で
は3月下旬から4月にかけて山裾や原野に
多く見られます。ときには海岸にも育成し
その生命力の強さがうかがわれます。



町の木

ビロウ【クバ】(ヤシ科)

島内全域にわたって生育し、その自然植生
は与那国島の自然を特徴づけるものです。
古来、住民の生活と深いかわりを持ち、ク
バを利用した民具は多種多様です。



町の蝶

ヨナグニサン【アヤミハビル】

世界の鱗翅目中最大の蛾。はねの開張180
～240mmもあり大型でかつ美麗の蛾です。
主な生息地である与那国の名前がつけられ
ています。特定の地域の大型蛾が多産する
ことは、学術上価値が高く、与那国島全域が
保護地区となっています。



町の鳥

メジロ(メジロ科)

環境庁の鳥獣保護区である与那国島は数多
くの鳥が生息しています。そのなかで、メジ
ロは古くから愛玩用として飼育され、町民
に親しまれている鳥です。雄はよい声でさ
えずります。



町の花木

サルスベリ(みそはぎ科)

中国原産の亜高木で4メートルほどになり
ます。与那国では古くから庭木として栽培さ
れ、床柱・ステッキ等にも使用されておしま
す。ほかにはシロバナサルスベリがあります。



町の魚

カジキ

暖海の魚で世界的に分布し、海洋を回遊し
ますが、高温を好み表層を遊泳します。与那
国島では、一年を通してカジキが獲れます。
その漁獲高は県内随一となっています。

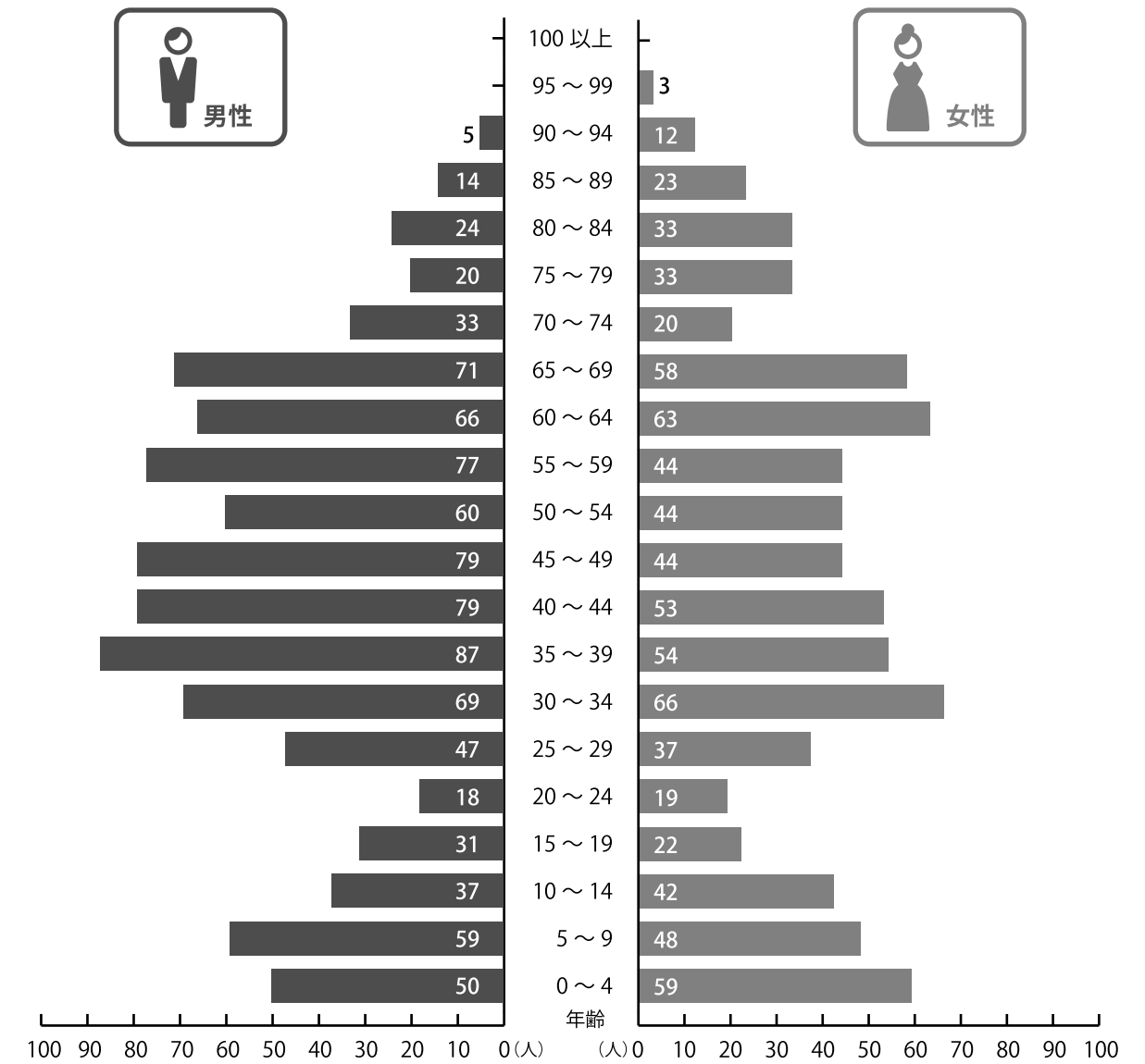


2. 人口推移

●人口動態

住民基本台帳：各年12月末現在

年 別	世帯数	総人口	男女別人口		自然動態			社会動態		
			男	女	出生	死亡	自然増	転入	転出	社会増
平成22年	804	1614	829	785	25	16	9	146	165	-19
平成23年	786	1601	824	777	13	15	-2	140	151	-11
平成24年	780	1564	806	758	23	20	3	148	188	-40
平成25年	791	1551	794	757	15	16	-1	129	141	-12
平成26年	779	1497	763	734	14	17	-3	118	169	-51
平成27年	786	1490	772	718	12	21	-9	162	160	2
平成28年	920	1703	926	777	18	19	-1	381	167	214



平成28年12月末現在

1. 位置・面積・気象

●位置と面積

位置						面積 (km ²)	周囲 (km)
方位 / 地名	町役場 (祖納)	東端 (東崎)	西端 (西崎)	南端 (新川鼻)	北端 (馬鼻崎)		
東経	123° 00' 15"	123° 02' 36"	123° 55' 59"	123° 00' 37"	123° 00' 20"	28.96	27.491
北緯	24° 27' 45"	24° 27' 23"	24° 26' 38"	24° 25' 53"	24° 28' 08"		

●気象状況

	気 温 (°C)			降水総量 (mm)	風 速 (m/s)		
	平均	最高値	最低値		最大風速	平均風速	瞬間最大風速
平成24年	23.8	33.4	11.2	2104.5	32.1	6.9	45.3
平成25年	23.9	33.6	11.8	2054.5	44.0	6.9	60.2
平成26年	24.0	34.6	12.0	1301.5	21.2	6.3	33.8
平成27年	24.3	33.9	11.7	2654.0	54.6	6.5	81.1

	気 温 (°C)			降水総量 (mm)	風 速 (m/s)		
	平均	最高値	最低値		最大風速	平均風速	瞬間最大風速
平成28年 1 月	18.9	26.6	8.0	390.0	19.9	8.6	27.0
平成28年 2 月	17.8	26.3	9.9	499.0	16.9	8.8	22.6
平成28年 3 月	19.6	26.5	13.3	174.5	15.6	6.6	21.2
平成28年 4 月	24.7	30.4	18.3	238.5	13.2	5.6	19.2
平成28年 5 月	26.8	32.1	20.1	111.5	15.1	5.5	19.6
平成28年 6 月	29.0	33.4	24.4	55.5	14.0	5.1	20.5
平成28年 7 月	29.7	34.2	24.8	94.5	14.3	5.3	20.7
平成28年 8 月	29.2	33.5	25.0	74.0	12.1	4.3	16.9
平成28年 9 月	27.7	33.8	23.4	660.0	46.6	7.0	66.8
平成28年10月	27.0	31.2	23.8	452.0	15.5	6.0	22.4
平成28年11月	23.8	29.4	19.3	182.0	16.4	7.3	21.4
平成28年12月	21.6	26.7	15.3	122.0	18.3	8.1	24.7

3. 行政

● 歴代村町長

平成 29 年 11 月 1 日現在

歴代	氏 名	就任年月日	歴代	氏 名	就任年月日
初代村長	森 田 孫 詳	T3.5.28	6	仲 嵩 浩 明	S40.2.10
2	真境名 元 輔	T9.8.24	7	仲 本 宗 裕	S44.2.10
3	新 里 和 盛	T13.10.1	8	仲 本 宗 裕	S48.2.10
4	真境名 元 輔	T15.7.21	9	外 間 守 之	S52.2.10
5	具 志 幸 加	S5.6.30	10	外 間 守 之	S56.2.10
6	新 城 安 廷	S9.7.31	11	入 仲 誠 三	S58.5.8
7	慶田元 貞 則	S13.4.18	12	東 濱 永 成	S62.5.8
8	仲 嵩 嘉 尚	S16.3.6	13	後真地 秀 雄	H3.5.8
9	松 田 長 茂	S19.6.30	14	入 仲 誠 三	H7.5.8
初代町長	浦 崎 栄 昇	S22.10.14	15	尾 辻 吉 兼	H11.5.8
2	松 田 長 茂	S24.10.22	16	尾 辻 吉 兼	H15.5.8
3	生 盛 栄 孝	S28.2.6	17	外 間 守 吉	H17.8.28
4	仲 嵩 浩 明	S32.2.10	18	外 間 守 吉	H21.8.28
5	仲 嵩 浩 明	S36.2.10	19	外 間 守 吉	H25.8.28
			20	外 間 守 吉	H29.8.28

● 歴代正副議長

平成 29 年 11 月 1 日現在

歴代	議 長		副議長	
	氏 名	就任年月	氏 名	就任年月
1	前富里 栄 光	S23.2	福 峰 衆 一	S23.2
2	国 吉 真 市	S25.9	仲 嵩 浩 明	S25.9
	仲 嵩 浩 明	S26.5	新 崎 真 二	S26.5
3	新 崎 真 二	S29.9	富 村 正 吉	S29.9
			大 仲 重 雄	S32.11
4	久 賀 正 三	S33.9	米 蔵 清 信	S33.9
5	〃	S37.9	慶 田 昇	S37.9
6	〃	S41.9	〃	S41.9
7	〃	S45.9	〃	S45.9
8	久 賀 正 三	S49.9	松 本 博 明	S49.9
			長 浜 一 男	S51.3
	入 仲 誠 三	S51.3	崎 原 昌 孝	S52.9
			大 仲 重 雄	S53.3
9	入 仲 誠 三	S53.9	松 本 博 明	S53.9
			長 浜 一 男	S54.7
10	長 浜 一 男	S57.9	玉 城 精 記	S57.9
			三 蔵 敝	S58.6
11	外 間 守 吉	S61.9	宮 良 正 一	S61.9
12	玉 城 精 記	H2.9	崎 原 用 能	H2.9
13	新 里 和 男	H6.9	仲 嵩 弘	H6.9
14	外 間 儀 章	H10.9	大宜見 浩 利	H10.9
15	東 浜 功 一	H14.1	大宜見 浩 利	H14.10
16	崎 原 孫 吉	H18.9	前西原 武 三	H18.9
17	前西原 武 三	H22.9	崎 原 孫 吉	H22.9
18	糸 数 健 一	H26.9	大宜見 浩 利	H26.9
	田 里 千代基	H29.8		

2. 人口推移

● 国勢調査の人口推移

各年 10 月 1 日現在

与那国町	人 口 及 び 世 帯 数			
	総数	男	女	世帯数
大正 9 年国調 (1920 年)	与那国村			
	3,802	1,971	1,831	729
大正 14 年国調 (1925 年)	与那国村			
	4,174	2,139	2,035	844
昭和 5 年国調 (1930 年)	与那国村			
	4,462	2,261	2,201	911
昭和 10 年国調 (1935 年)	与那国村			
	4,609	2,264	2,345	940
昭和 15 年国調 (1940 年)	与那国村			
	4,580	2,268	2,312	910
昭和 25 年国調 (1950 年)	昭和 22 年 12 月 1 日 町制施行			
	6,158	2,907	3,251	1,248
昭和 30 年国調 (1955 年)	5,259	2,622	2,637	984
昭和 35 年国調 (1960 年)	4,701	2,374	2,327	892
昭和 40 年国調 (1965 年)	3,671	1,840	1,831	733
昭和 45 年国調 (1970 年)	2,913	1,484	1,429	670
昭和 50 年国調 (1975 年)	2,155	1,076	1,079	583
昭和 55 年国調 (1980 年)	2,119	1,063	1,056	669
昭和 60 年国調 (1985 年)	2,054	1,078	976	706
平成 2 年国調 (1990 年)	1,833	925	908	667
平成 7 年国調 (1995 年)	1,801	911	890	674
平成 12 年国調 (2000 年)	1,852	957	895	718
平成 17 年国調 (2005 年)	1,796	939	857	802
平成 22 年国調 (2010 年)	1,657	841	816	713
平成 27 年国調 (2015 年)	1,843	1,147	696	1,080

資料：国勢調査

4. 財政

●一般会計決算状況

単位：千円

年度別	決算額			翌年度に繰り越すべき財源	実質収支	単年度収支	積立金	繰上償還額	積立金崩し額	実質単年度収支
	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引							
平成24年度	2,766,262	2,425,085	341,177	66,270	274,907	3,559	140,652	0	89,500	54,711
平成25年度	3,504,541	3,202,530	302,011	99,792	202,219	△72,688	343,068	0	100,000	170,380
平成26年度	4,212,045	3,856,462	355,583	93,339	262,244	60,025	102,194	0	200,000	△37,781
平成27年度	5,525,432	5,190,179	335,253	131,451	203,802	△58,442	350,386	0	200,000	91,944
平成28年度	3,416,735	2,989,124	427,611	55,897	371,714	167,912	275,180	0	132,000	311,092

●特別会計決算状況

単位：千円

年度	会計名称	決算額			翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引		
平成27年度	国民健康保険事業特別会計	330,750	284,634	46,116	0	46,116
	介護保険事業特別会計	164,986	164,126	860	0	860
	後期高齢者医療事業特別会計	13,588	8,854	4,734	0	4,734
	簡易水道事業特別会計	166,125	141,095	25,030	0	25,030
	農業集落排水事業特別会計	29,364	26,504	2,860	0	2,860
	漁業集落環境整備事業	11,640	9,212	2,428	0	2,428
	計	716,453	634,425	82,028	0	82,028
平成28年度	国民健康保険事業特別会計	323,798	303,871	19,927	0	19,927
	介護保険事業特別会計	148,008	140,976	7,032	0	7,032
	後期高齢者医療事業特別会計	12,261	10,020	2,241	0	2,241
	簡易水道事業特別会計	104,560	85,366	19,194	0	19,194
	農業集落排水事業特別会計	37,999	34,141	3,858	0	3,858
	漁業集落環境整備事業	12,005	6,832	5,173	0	5,173
	計	638,631	581,206	57,425	0	57,425



3. 行政

●町長及び副町長、教育長

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
与那国町長	外間 守吉	H17.8.28
与那国町副町長	不在	
与那国町教育長	不在	

●与那国町議会議員

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
議長	田里 千代基	H29.9
副議長	大宜見 浩利	H26.9
議員	前西原 武三	H26.9
議員	崎元 俊男	H26.9
議員	與那覇 英作	H26.9
議員	与那原 繁	H29.8

●与那国町監査委員

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
代表監査委員	仲里 正明	H21.12
議員選出監査委員	崎元 俊男	H27.9

●与那国町教育委員

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
教育長	不在	
委員	尾辻 美佐恵	H24.4

●与那国町選挙管理委員会

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
委員長	玉城 孝	H26.4
職務代理	前濱盛 光男	H26.4
委員	田盛 眞吉	H26.7
委員	宮平 忠治	H26.4

●与那国町農業委員

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
会長	小嶺 長詳	H29.10
会長職務代理	安慶名 恵子	H29.10
委員	宮良 正一	H29.10
委員	大宜見 政彦	H29.10

●農地利用最適化推進委員

平成29年11月1日現在

職名	氏名	就任
委員	請舩 姫代	H29.10
委員	大嵩 聖吾	H29.10
委員	請花 万吉	H29.10

4. 財政

●歳出決算状況

単位：千円

歳出決算（目的別）					歳出決算（性質別）				
科 目	平成27年度		平成28年度		科 目	平成27年度		平成28年度	
	決算額	構成比率	決算額	構成比率		決算額	構成比率	決算額	構成比率
議 会 費	47,412	0.91%	42,569	1.42%	人 件 費	558,804	10.77%	540,102	18.07%
総 務 費	1,136,980	21.91%	906,293	30.32%	扶 助 費	105,483	2.03%	102,772	3.44%
民 生 費	344,887	6.64%	306,961	10.27%	公 債 費	227,641	4.39%	230,545	7.71%
衛 生 費	193,327	3.72%	178,610	5.98%	普通建設費	2,729,723	52.59%	512,199	17.14%
労 働 費	0	0.00%	0	0.00%	災害復旧事業	35,685	0.69%	185,955	6.22%
農林水産業費	2,385,132	45.95%	401,333	13.43%	失業対策事業	0	0.00%	0	0.00%
商 工 費	57,332	1.10%	66,644	2.23%	物 件 費	507,728	9.78%	533,438	17.85%
土 木 費	470,197	9.06%	190,152	6.36%	維持修繕費	19,376	0.37%	32,316	1.08%
消 防 費	11,225	0.22%	107,661	3.60%	補 助 費 等	234,973	4.53%	282,559	9.45%
教 育 費	280,361	5.40%	372,401	12.46%	積 立 金	591,448	11.40%	427,193	14.29%
災害復旧費	35,685	0.69%	185,955	6.22%	投資及び出資金	0	0.00%	0	0.00%
公 債 費	227,641	4.39%	230,545	7.71%	貸 付 金	500	0.01%	0	0.00%
諸 支 出 金	0	0.00%	0	0.00%	繰 出 金	178,818	3.45%	142,045	4.75%
歳 出 合 計	5,190,179	100.00%	2,989,124	100.00%	前年度繰上充用金	0	0.00%	0	0.00%
					歳 出 合 計	5,190,179	100.00%	2,989,124	100.00%

●健全化判断比率

単位：％

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費率	将来負担比率
平成27年度	－	－	6.4	－
平成28年度	－	－	5.4	－
（早期健全化基準）	（15.00）	（20.00）	（25.0）	（350.0）

●資金不足比率

単位：％

	簡易水道事業	漁業集落排水事業	農業集落排水事業	備考
平成27年度	－	－	－	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
平成28年度	－	－	－	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
資金不足比率に係る「経営健全化基準」				

4. 財政

●一般会計歳入決算状況

単位：千円

科 目	平成27年度	平成28年度
地 方 税	165,811	191,243
地方譲与税	31,859	31,950
利子割交付金	185	107
配当割交付金	371	176
株式等譲渡所得割交付金	297	139
地方消費税交付金	29,753	27,388
ゴルフ場利用税交付金	0	0
自動車取得税交付金	5,481	5,878
地方特例交付金	135	169
地方交付税	1,462,020	1,465,076
1. 普通交付税	1,177,595	1,236,603
2. 特別交付税	284,425	228,472
3. 震災復興特別交付税	0	0
交通安全対策特別交付金	0	0
分担金及び負担金	3,359	4,929
使 用 料	37,037	40,256
手 数 料	1,834	2,035
国庫支出金	152,151	198,216
国有提供施設等所在市町村助成交付金	0	0
都道府県支出金	2,276,390	663,916
財 産 収 入	22,017	24,366
寄 付 金	6,973	17,339
繰 入 金	242,630	193,235
繰 越 金	355,583	335,253
諸 収 入	216,058	34,166
地 方 債	515,488	180,899
歳入合計	5,525,432	3,416,735



6. 教育

● 中学校生徒数及び教員推移

各年 5 月 1 日現在

年次	学校名	生徒数			学級数	1 学級当たり数	教職員数
		総数	男	女			
平成 25 年	与那国	37	21	16	3	12	10
	久部良	11	7	4	3	4	10
	総数	48	28	20	6	8	20
平成 26 年	与那国	29	16	13	3	10	10
	久部良	13	8	5	3	4	10
	総数	42	24	18	6	7	20
平成 27 年	与那国	29	12	17	3	7	12
	久部良	8	4	4	3	4	8
	総数	37	16	21	6	6	20
平成 28 年	与那国	31	13	18	4	8	13
	久部良	13	7	6	2	7	8
	総数	44	20	24	6	7	21
平成 29 年	与那国	34	15	19	3	11	12
	久部良	11	4	7	2	6	8
	総数	45	19	26	5	9	20

● 小学校児童数及び教員数推移

各年 5 月 1 日現在

年次	学校名	生徒数			学級数	1 学級当たり数	教職員数
		総数	男	女			
平成 25 年	与那国	64	30	34	6	11	11
	久部良	32	16	16	3	11	7
	比川	9	1	8	4	2	7
	総数	105	47	58	13	8	25
平成 26 年	与那国	48	24	24	4	12	8
	久部良	25	11	14	4	6	7
	比川	8	1	7	3	3	7
	総数	81	36	45	11	7	22
平成 27 年	与那国	49	26	23	5	10	10
	久部良	32	15	17	3	11	8
	比川	10	2	8	3	3	7
	総数	91	43	48	11	8	25
平成 28 年	与那国	69	39	30	6	12	11
	久部良	29	14	15	4	7	8
	比川	8	3	5	3	3	7
	総数	106	56	50	13	8	26
平成 29 年	与那国	78	43	35	6	13	11
	久部良	37	20	17	4	9	8
	比川	8	4	4	3	3	7
	総数	123	67	56	13	9	26

5. 福祉

● 児童福祉施設の状況

平成 29 年 4 月 1 日現在

施 設 名	定員	保育士等	開所年月日
祖納保育所	46	9	昭和 52 年 4 月 16 日開所 平成 26 年 6 月現在地に移転
久部良へき地保育所	25	3	昭和 44 年 5 月
学童保育どうなん児童クラブ	40	3	平成 23 年 4 月

資料：長寿福祉課

● 老人保健施設

施設名	設置（経営）	設置（認可）年月日	定員
特別養護老人ホーム 月桃の里	ダンヌ会	平成 12 年 3 月 26 日	30
ケアセンターがんどう	与那国町社会福祉協議会	平成 26 年 7 月 1 日	—

● 高齢者の状況及び高齢化率の推移

各年度 10 月 1 日現在

	総人口	年 齢 区 分						寝たきり	独居
		65～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90 歳以上	計	高齢化率		
平成 24 年	1,574	67	139	96	14	316	20.1	1	86
平成 25 年	1,558	74	138	101	15	328	21.1	1	64
平成 26 年	1,514	98	124	107	19	348	23.0	0	70
平成 27 年	1,485	107	111	110	16	344	23.2	1	67
平成 28 年	1,690	125	105	95	18	343	20.0	2	70

資料：長寿福祉課

● 介護保険

単位：人、千円 各年度末現在

		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
1 号被保険者		319	333	348	346	344
認定者数（2 号被保険者数）		61（6）	67（5）	67（5）	73（4）	61（3）
介護サービス受給者数 （月平均）	居宅	12	14	24	25	28
	施設等	25	24	26	24	20
介護給付費（年間）	居宅	20,981	22,517	40,585	47,422	43,876
	施設等	80,652	77,863	84,255	82,203	75,409

資料：長寿福祉課

● 国民年金受給状況

単位：千円 各年度末現在

	老齢基礎年金		障害基礎年金		遺族基礎年金		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成 23 年度	296	152,341	36	31,888	9	5,485	341	189,714
平成 24 年度	309	160,758	36	30,673	8	5,161	353	196,592
平成 25 年度	320	168,389	37	31,334	5	2,879	362	202,602
平成 26 年度	326	173,830	37	31,105	5	2,603	368	207,538
平成 27 年度	325	176,706	34	28,668	4	2,478	363	207,852

資料：厚生労働省ホームページ

7. 農林業

● 農業基盤整備の現況 (平成26年度現在)

ほ場整備			畑地かんがい施設整備			農業用水源施設整備		
要整備量 A (ha)	整備量 B (ha)	整備率 B/A × 100	要整備量 A (ha)	整備量 B (ha)	整備率 B/A × 100	要整備量 A (ha)	整備量 B (ha)	整備率 B/A × 100
536.0	369.0	68.8	536.0	28.8	5.4	536.0	25.4	4.7

資料：まちづくり課

● 販売農家 専業別農家数 単位：戸、%

年度区分	販売農家総数	専業農家		兼業農家			
		戸数	比率 (%)	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家	計	
						戸数	比率 (%)
平成27年	176	44	25	30	102	132	75

注：第1種兼業農家…農業を主とする農家 資料：「2015年農林業センサス」
第2種兼業農家…農業を従とする農家

● 農業就業人口 単位：人

	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
平成27年	9	4	7	23	56	38	137

資料：2015年農林業センサス

● さとうきびの作型別生産実績 平成28年4月現在

年 期	夏 植			春 植			株 出			合 計			
	面積 (ha)	10アール当 り収量 (kg)	生産量 (t)	面積 (ha)	10アール当 り収量 (kg)	生産量 (t)	面積 (ha)	10アール当 り収量 (kg)	生産量 (t)	面積 (ha)	10アール当 り収量 (kg)	生産量 (t)	生産農 家数
平成22～ 平成23年	55	6,188	3,385	26	2,842	725	22	3,648	788	102	4,811	4,898	89
平成23～ 平成24年	50	4,254	2,118	13	2,951	391	25	4,018	1,000	88	4,008	3,509	89
平成24～ 平成25年	48	4,826	2,316	5	2,581	139	36	3,274	1,178	89	4,066	3,633	88
平成25～ 平成26年	48	5,604	2,695	3	1,886	51	32	2,916	950	83	4,459	3,697	87
平成26～ 平成27年	54	5,247	2,828	4	2,138	86	45	2,321	1,047	103	9,706	3,961	83
平成27～ 平成28年	63	5,775	3,644	15	3,381	497	49	4,051	1,993	127	4,830	6,134	69

資料：農林水産部糖業農産課

6. 教育

● 幼稚園園児数及び教員数推移 各年5月1日現在

年次	学校名	生徒数			学級数	1学級当たり数	教職員数
		総数	男	女			
平成25年	よなぐに	19	11	8	2	10	2
	くぶら	10	6	0	2	5	2
	ひがわ	3	1	2	1	3	1
	総数	32	18	14	5	6	5
平成26年	よなぐに	20	13	7	2	10	2
	くぶら	15	7	8	2	8	2
	ひがわ	3	2	1	1	3	1
	総数	38	22	16	5	8	5
平成27年	よなぐに	25	15	10	2	13	2
	くぶら	15	8	7	2	8	2
	ひがわ	4	3	1	1	4	1
	総数	44	26	18	5	9	5
平成28年	よなぐに	30	16	14	2	15	2
	くぶら	15	7	8	2	8	2
	ひがわ	2	1	1	1	2	1
	総数	47	24	23	5	9	5
平成29年	よなぐに	33	14	19	2	17	2
	くぶら	15	7	8	2	8	2
	ひがわ	5	3	2	1	5	1
	総数	53	24	29	5	11	5



7. 農林業

●長命草生産推移

各年度末現在

	面積（ha）	生葉生産量（t）	生産農家（戸数）
平成22年	15	153	50
平成23年	25	220	50
平成24年	27	334	60
平成25年	27	263	60
平成26年	27	354	60
平成27年	27	295	60
平成28年	27	299	60

資料：産業振興課

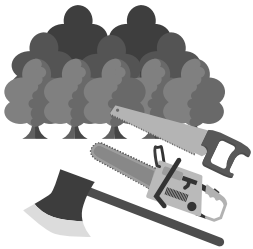
林業

●土地利用状況

（単位 人口：人 面積：ha 率：％）平成29年4月末現在

人口	面積	総数	森林面積				耕地	その他	森林率	
			林野庁所 管国有林	民 有 林						
				合計	県有	市町村有				私有
1,725	2,895	1,126	－	1,126	1	965	160	992	777	38

資料：産業振興課



7. 農林業

●水稻の生産状況

各年末現在

	作付面積（ha）			10a 当たり収穫量（kg）			収穫量（t）			農家数 （戸）
	計	1 期作	2 期作	計	1 期作	2 期作	計	1 期作	2 期作	
平成23年	57	57	－	134	134		76	76	－	9
平成24年	40	40	－	172	172		69	69	－	8
平成25年	34	34	－	174	174		59	59	－	7
平成26年	30	30	－	190	190		57	57	－	7
平成27年	26	26	－	146	146		38	38	－	7
平成28年	28	28	－	239	239		67	67	－	7

資料：産業振興課

●家畜・家きんの飼養頭羽数

単位：戸、頭、羽

	肉用牛	乳用牛	馬	豚	山羊	採卵鶏
平成22年	1,996	0	145	84	139	355
平成23年	1,783	0	184	53	101	172
平成24年	1,307	2	194	35	104	164
平成25年	830	0	179	39	123	133
平成26年	1,022	0	162	65	108	143
平成27年	1,005	0	176	73	108	125
平成28年	953	0	196	55	137	287

資料：産業振興課

●肉用牛生産動向

各年12月末現在

	飼養戸数	繁殖共用牛				生産頭数 (B)	生産率 (B)／(A)
		18カ月以上			種雄牛		
		経産	未經産	計 (A)			
平成22年	70	1,185	68	1,253	10	451	36
平成23年	63	1,080	55	1,135	8	429	38
平成24年	58	819	34	853	8	454	53
平成25年	46	524	23	547	8	330	60
平成26年	40	633	6	639	5	403	63
平成27年	42	611	39	650	2	311	48
平成28年	37	581	25	606	2	310	51

資料：産業振興課



9. 環境美化

● ゴミ処理状況

		可燃ごみ (kg)	不燃ごみ (kg)
平成24年度		466,280	64,210
平成25年度		471,370	40,190
平成26年度		453,150	50,860
平成27年度		531,960	48,900
平成28年度	4月	55,030	5,390
	5月	49,570	4,270
	6月	43,830	5,110
	7月	48,730	5,530
	8月	48,220	4,510
	9月	46,260	6,260
	10月	40,930	4,240
	11月	37,740	3,920
	12月	44,960	3,860
	1月	39,930	2,890
	2月	37,510	3,170
	3月	48,690	5,220
	合計	541,400	54,370

資料：まちづくり課

● し尿処理状況

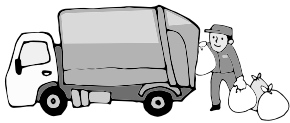
平成28年度	80,000
--------	--------

● 水道状況

(平成29年3月末現在)

年度区分	総人口 (A)	給 水 人 口			普及率 B/A × 100	施 設		水 源	一日最大給水量 (立方)
		計 (B)	上水道	簡易水道		上水道	簡易水道		
平成28年度	1,693	1,693	—	1,693	100	—	1	地下水 伏流水	1,400

資料：まちづくり課



8. 漁業

● 登録動力漁船数

単位：トン 各年12月末現在

区 分	合計		3トン未満		3～5トン未満		5～10トン未満	
	隻数	総数	隻数	総数	隻数	総数	隻数	総数
平成26年度	37	120.3	21	43.4	14	60.6	2	16.3
平成27年度	43	145.2	22	45.4	17	71.9	4	27.9

資料：産業振興課

● 漁獲量の推移

単位：トン 各年12月末現在

平成26年度	125.0
平成27年度	146.8

資料：産業振興課

● 年齢階級別及び男女別漁業就業者数の推移 (15歳以上)

単位：人 平成29年4月1日現在

	男						女
	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	計
平成28年度	1	4	6	12	13	36	0

資料：産業振興課



10. 文化・芸能

●町内の主な伝統行事

旧暦日	名 称	集 落	内 容
1月1日	新年	全島	十山御嶽で一年の島の平和を祈願する。
1月16日	十六日祭 (ドゥルクニティ)		各家庭の墓所で祖先の供養をする。
2月中旬	牛願い (ウチニガイ)		畜産物の繁昌を北牧場近くの拝所で祈願する。
3月上旬	カド物忌祭 (カドムヌン)		田園の整備、播種、稲作の種苗の育成祈願する。
3月下旬	草葉物忌祭 (ツァバムヌン)		田植後の稲の無事な成長を祈願する。
4月1日	衣替願		十山御嶽で夏を無事に過ごせる様祈願する。
4月上旬	稲穂物忌祭 (フームヌン)		稲の出穂期に無事な収穫を祈願する。
5月4日	海神祭 (ドゥガヌヒ)	久部良	漁業関係者が海上平穏、豊漁を祈願する。
6月上旬	世物忌祭 (ドゥムヌムヌン)	全島	北牧場で、稲の収穫感謝の祈りをする。
6月下旬	豊年祭		十山御嶽で豊年満作の感謝の祈りをする。
7月13日	旧盆		各家庭で祖先の供養をする。
8月上旬	アラガトタガビ		大蛇道上の拝所で雨乞いを祈願する。
8月下旬	屋手久祭 (ダティククイ)		東崎ダティクチディで海上安全を祈願する。
9月下旬	節祭 (シティ)	祖納・比川	3日間にわたる悪魔払いの祈願をする。
10月1日	金刀比羅祭	久部良	漁業関係者が海難排除、豊漁を祈願する。
10～11月	衣替祭	全島	東久部良、我那覇家で冬を無事過ごせる様祈願する。
10～11月	久部良祭 (クブラマチリ)	久部良	異国人、海賊の退散を祈願する。
10～11月	浦祭 (ウラマチリ)	祖納	家畜繁昌の祈願をする。
10～11月	比川祭 (ンディマチリ)	比川	比川で豊年、家内安全子孫繁栄の祈願をする。
11月上旬	島仲祭 (ンマナガマチリ)	祖納	旧島仲部落で豊年祈願する。
11～12月上旬	帆安祭 (ンダンマチリ)	祖納	旧邑与那原の祭場とミドゥディ山で海上安泰を祈願する。

10. 文化・芸能

●国・県・町指定文化財

No.	種 別	名 称	概 要	指 定
1	重要無形文化財	与那国島の祭事の芸能	南方、中国文化、琉球王朝時代の文化等特異な文化を伝承。島内の12の御嶽を中心とした祭事における歌や踊りには、その古態をいまに留めたものが多く、芸能史的、民俗的にも極めて価値が高い。	国指定 S.60.1.12
2	名勝	久部良バリ及び久部良フリシ	全長15m、幅3.5m、深さ7mの割れ目を人頭税に対処する為の人口制限の手段として妊婦を飛ばせたと云われている。	国指定 H.26.3.18
3	名勝	サンニヌ台	長年にわたり浸食をうけた奇岩が多く屹立し、また断崖絶壁には太平洋の荒波が打ち寄せ、その雄大な自然景観は他に比類のないほどである。	県指定 S.49.5.15
4	名勝	ティンダバナ	約100mの隆起珊瑚礁の砂岩でできた自然展望台で祖納集落、ナンタ浜が一望できる。	国指定 H.26.10.6
5	天然記念物	ヨナグニサン	世界最大の開張約30cmに達する美しい蛾で、当町のみ多産する。ヤママユガ科に属する。	県指定 S.60.3.29
6	天然記念物	宇良部岳 ヨナグニサン 生息地	宇良部岳(海拔231m)は与那国島の最高峰でヨナグニサンの重要な生息地である。山頂にウラジログシ、中腹部には、イタジイ等の群落が発達し、地域内にはアカギ、モクタチバナ、シヨウベンノキ等ヨナグニサンの食草が豊富にある。	県指定 S.60.3.29
7	天然記念物	久部良岳 天然保護区域	久部良岳(海拔194.5m)は生物自然が豊かな地域である。ピロウを中心とした亜熱帯植物群落は学術的に貴重である。	県指定 S.60.3.29
8	史跡	ダティクチディ	東崎の小高い丘にあり、尚賢王時代(1644年)に海上監視、出入船の通報の為設置された番所あと。	国指定 H.19.2.23
9	無形文化財	与那国マヤー小節	首里王府の施策によりネズミを退治する猫の競争があり、与那国の猫が優勝した。その時の感激を歌にしたもの。	町指定 S.54.3.24
10	天然記念物	西真嘉の大デイゴ	沖縄県で最大といわれ、周囲4mの高さまでまきついているハブカズラは見事である。	町指定 S.54.3.24
11	史跡	女首長サンアイソバ 生居地	伝説上の女首長サンアイ・イソバが出生したといわれている。	町指定 S.54.3.24
12	民俗資料	いぬがん	与那国に最初に人が住み、それから子孫繁栄したという、女と犬と、男の伝説の場所。	町指定 S.54.3.24
13	民俗資料	てだんどぐる	大昔の洪水をおさめ、色々と知恵をさずけてくれた老人と島民の伝説中の場所。	町指定 S.54.3.24
14	天然記念物	久部良ミット湿地帯	ミット池を中心とする湿地帯で、同地で生息する動植物は、学術上貴重なものが多い。特にミモチシダは重要である。	町指定 S.54.3.24
15	登録有形文化財	入福浜家住宅主家	1920年の建築で木造平屋建て、赤瓦葺き、建築面積172㎡。与那国島で初めての旅館業を営んだ建物であり、現在も「入福旅館」として受け継がれている。	国指定 H.18.12.19
16	登録有形文化財	久部良家住宅主屋、石垣	明治中期に建築され、木造平屋建て、赤瓦葺き、建築面積160㎡。石垣市内から移築したと伝えられる。当時の与那国島の住宅としては最大級である。	国指定 H.19.10.22
17	登録有形文化財	東迎家住宅主屋、水タンク、石垣、井戸、イチタライ	住宅は1953年の建築で木造平建、屋根は寄棟造の赤瓦葺き、建築面積は128㎡。雨水を溜めた水タンク、明治前期に建造された井戸、砂岩を彫り込んで建造したイチタライ、石灰岩を野面積みで建造された石垣も含め、屋敷全体が伝統的な民家形態を残している。	国指定 H.20.3.19

11. 町内官公庁その他の機関

名 称	住 所	電話番号 <0980>
どうらいどうぐる施設	与那国町字与那国 298	
アヤミハビル館（ヨナグニサン資料展示）	〃 2114	87-2440
DiDi 与那国交流館	〃 1107	87-2166
与那国町社会福祉協議会（保健センター指定管理）	〃 255	87-2471
ケアセンターがんどう	〃 257	84-8677
町営学習塾（複合型施設内）	〃 437-17	87-3949
与那国郵便局	〃 50	87-2004
久部良簡易郵便局	〃 4022-230	87-2615
与那国駐在所	〃 4841	87-2152
久部良駐在所	〃 4022-199	87-2154
沖縄地区税関与那国監視署	〃 999-1	87-2804
八重山農林水産振興センター農業改良普及課与那国駐在	〃 125	87-2354
沖縄県農業共済組合八重山支所与那国駐在	〃 125	87-2324
沖縄県農業共済組合八重山支所家畜診療所与那国駐在	〃 125	87-2324
与那国町伝統織物協同組合	〃 175-2	87-2970
JA おきなわ与那国支店	〃 125	87-2254
製糖工場	〃 4792	87-2256
ライスセンター	〃 4764-1	87-2833
与那国町漁業協同組合	〃 4022-1	87-2803
沖縄電力（株）与那国電業所	〃 4796	
崎原海運	〃 203	87-2113
福山海運	〃 85	87-2555
最西端観光（路線バス運行）	〃 4350	87-2441
大仲歯科医院	〃 255	87-2471
与那国民族資料館	〃 49-2	87-2885
特別養護老人ホーム月桃の里	〃 4161-1	87-3151

11. 町内官公庁その他の機関

●町内官公庁その他の機関

27年版発行用

名 称	住 所	電話番号 <0980>
与那国町役場	与那国町字与那国 129	87-2241（代）
与那国町議会	〃 129	87-2246
与那国町教育委員会	〃 129	87-2002
与那国町農業委員会	〃 129	87-3583
与那国町消防団	〃 129	87-2241（役場）
与那国町選挙管理委員会	〃 129	87-2241（役場）
与那国町空港管理事務所	〃 4350-81	87-2831
与那国町給食センター	〃 1037-1	87-2212
与那国中学校	〃 1021-1	87-2871
久部良中学校	〃 4022-480	87-2862
与那国小学校	〃 1025	87-2872
久部良小学校	〃 4022-281	87-2861
比川小学校	〃 2031	87-2864
よなぐに幼稚園	〃 1025-1	87-2064
くぶら幼稚園	〃 4022-281	87-2967
ひがわ幼稚園	〃 3031	87-2253
与那国町立祖納保育所	〃 1107	87-2024
与那国町立久部良保育所	〃 4022-281	87-2664
学童保育どうなん児童クラブ	〃 437-17	080-2754-4111
与那国町診療所（地域医療協会指定管理）	〃 125-1	87-2250
与那国町観光協会（複合型施設指定管理）	〃 437-17	87-2402
与那国町商工会	〃 125	87-2944
与那国空港	〃 4350-81	87-2844
与那国町離島振興総合センター	〃 3465	
与那国町中央公民館	〃 125	
比川多目的集会施設	〃 3436	87-3838
久部良多目的集会施設	〃 4022-223	
与那国町構造改善センター	〃 420	87-2757
与那国町保健センター	〃 255	
児童交流センター	〃 2114	
活性化施設（嶋仲公民館）	〃 467	
与那国町複合型公共施設	〃 437-17	

12. 与那国のあゆみ

西暦	元号	月日	事項
1477	文明9		朝鮮人漂着。貴重な当時の島の模様を記した資料を残す。
1500	明応9		宮古島の仲宗根豊見親の嫡子仲屋金盛が八重山の赤蜂討伐の途次、与那国入りを企てたが、サンアイ・インバに撃退された。
1501	10		琉球中山王の尚真王は真刈金豊見親を八重山島の頭に任命、八重山島の頭職の始まりである。
1501	10		尚真王は西表島の祖納堂を与那国与人に任命し与那国島は初めて他の支配下に入る。これによりサンアイ・インバの時代まで他国に支配されず独立自主、比較的豊かで自由な生活にはつきりと終止符がうつたれる。
1522	大永2		尚真王は仲宗根豊見親に命じて与那国島の住民であるウニトラを討伐せしめた。
1611	慶長16	2月	薩摩の役人毛利内膳元親が来島、測量を行い、始めて検地帳を作成。当時の税制は高配分と称していた。
1628	寛永5		八重山を三間切に区分し、各間切に頭を置き、間切内の各村には番所を置き、与人、目差、耕作筆者の役人で行政の任に当たらせた。与那国島当板要の村には、頭の候補者である首里大屋子が与人として配置された。八重山に在番制度を設け行政に当たらせた（今日の地方庁長にあたる）。
1637	15		人頭税制度施行。住民の悲劇がここより始まる。薩摩は八重山に大和在番を置き外寇に備え、あわせて、琉球王朝の八重山行政を監督させた。

1872	明治5		戸籍法施行。
1879	12		薩摩置県布告と共に在番制度も廃止され、在番代理として組長が任命される。沖縄県となる。
1880	13	6月	八重山島役場を蔵元内に設置し、在番代理を八重山島役所と称した。
1884	17	5月	与那国島医師診療所を設置した（5年後に廃止）。
1885	18	6月	八重山島役所与那国出張所設置。初代所長 斎藤速太
1888	21	7月	与那国小学校創立。初代訓導 奥田恕
1893	26	4月	那覇警察署与那国分署設置。
1895	28		与那国小学校を与那国簡易小学校に改称。
1896	29	3月	与那国簡易小学校を与那国尋常小学校に改称。
1897	30		八重山病院出張所を再建。初代出張医 内藤泰助
1898	31	4月	与那国分署廃止。八重山警察署祖納、比川巡査駐在所設置。
1901	34		郡編成により八重山郡となり、八重山島役所を廃止して八重山島庁を設置。初代島司 野村道安
1903	36		間切島吏員規定発布。蔵元は間切役人と改称し、頭以下旧吏員を免ぜられ、間切に間切長、村に村頭を置いた。八重山は一郡一間切とし、間切長の職務は島司が行い、収入役は島庁書記から任命した。各村の村頭はその補助として置かれた。初代与那国村頭 糸洲正興
1904	37	5月	我謝秀色氏開業、村医は新垣善治医師、仲嵩嘉尚医師（明治44年）
			比川に与那国尋常小学校比川分教場設置。初代主任 新城美屋久
			人頭税廃止。地租条例施行、266年にわたる住民の悲劇の幕は閉じられた。
			与那国尋常小学校を与那国尋常高等小学校と改称する。初代校長 真境名元輔

1908	明治41		沖縄県特別町村制施行。従来の間切は村に、村は字に改称され、八重山村字与那国となる。各字に区長を置き、事務にあたらせた。
1912	大正1	7月	義務教育年延長のため、与那国尋常高等小学校を与那国尋常小学校に改称。
1914	3		八重山議員定数20名のうち2名が本島より任命された。初代選出議員 入波平保久利・松田長明
1916	5	7月	八重山村より分村、一村一字となる。5月より役場事務開始。
1917	6	4月	初代村長（任命）森田孫詳（八重山島司 安藤重起）
1920	9	4月	村会議員選挙施行。10名の議員が誕生した。
			仲嵩医院開業。
			与那国尋常小学校に2ヶ年制の高等科を併置し、与那国尋常高等小学校と改称。
			沖縄県特別町村制を廃止し、普通町村制施行。
			村会議員選挙施行。12名の議員が誕生した。
			村会議員により村長選挙施行。初めて民選村長誕生。
			初代民選村長 真境名元輔（通算2代目）
			3代村長 新里和盛
			4代村長 新境名元輔
			無集配三等郵便局設置。普通選挙法公布。
			八重山島庁を八重山支庁に改称。
			5代村長 具志幸加
			6代村長 新城安延
			7代村長 慶田元貞則
			池間医院開業。（昭和時代に池間栄三氏、内田薫氏が開業）

1941	昭和16	3月	8代村長 仲嵩嘉尚
1943	18	1	第2次世界大戦に参戦。
1944	19	6月	町内の尋常高等小学校を国民学校に改称。
1945	20	8月	台湾・高雄から引き上げ仲嵩医院で勤務。（昭和18年）
			久部良診療所開業。
			仲本（旧姓大舩）トミさん終戦後、女性ではただ一人、無医地区の医療に携わる。沖縄だけの制度の医介輔とし開業。（昭和18年か昭和20年（終戦後ともあり、開業年は定かではない））
			9代村長 松田長茂
			終戦。沖縄県は米軍統治下に置かれる。
			終戦。50年におよぶ日本の台湾統治に終止符。
			再び与那国―台湾に国境線が引かれた。
			崎原永著医師開業、八重山民政府衛生部久部良出張所の所長としてマリア防庄に貢献。（昭和25年の5年間）後に那覇へ渡り開業。
			米海軍から陸軍へー沖縄軍政移管。
			浦崎栄昇氏与那国村長に任命
			（米軍政府推薦、吉野高善・八重山民政府知事任命）
			治安裁判所設置。初代判事 松田長茂
			町昇格。人口は5719人であった。初代町長 浦崎栄昇 就任
			通貨切替。
			婦人参政権獲得。
			与那国町役場・合同庁舎落成式。
			与那国実業高等学校廃校。
			6・3・3学制施行。

1964	昭和39	1965	40	1966	41	1967	42	1968	43
6月	7月	2月	7月1日	8月	3月	5月	11月	2月	3月
日本政府援助で久部良港浚渫工事を着工。 竹富、与那国親善交歓大会与那国で初開催。 久部良橋竣工。 第6代町長 仲嵩浩明就任 与那国飛行場完成。エア・アメリカ機就航。 与那国町文章制定。 台風18号メアリ与那国島を襲う。最大瞬間風速56・6m。住宅全壊101戸、半壊96戸、被害甚大。 震度5の地震、死者3人。家屋全壊1戸、半壊9戸、集落内の石垣、護岸崩壊24ヶ所。震源地は与那国島の南南西40km海底。 集中豪雨で祖納の3分の1が浸水。10時間で300mm。農協のモミに5、000ドルの損害。 台湾漁船による漁場荒しに対し、八重山署へ取り締まり強化を要請。 久部良小中学校給食室完成。 与那国製糖株式会社、台湾から48名の労務者を導入。全島電化実現。 久部良港整備工事完了。300トン的大型船が接岸可能になる。 民間航空路開設。（エア・アメリカに代わり南西航空機が就航） 台風37号の影響で660mmの豪雨。107戸浸水。 国府軍機（台湾）2機不時着。1機炎上、パイロットは重体で池間医院へ収容、以後台湾にて全快。 平和の塔の完成除幕式。日露戦争から第2次世界大戦までに戦没した軍人軍属178柱が奉られる。総工費1、300ドルは遺族会員の拠出金、及び町内有志の寄付によるもの。									

1968	昭和43	1969	44	1970	45	1971	46	1972	47	1973	48	1974	49	1975	50
6月	12月	2月	8月	2月	5月	10月	11月	2月	5月	4月	1月	5月	2月	5月	4月
与那国、久部良両漁協が合併し、与那国町漁業協同組合として再発足。水産物の冷凍輸出信用事業等を開始。 NHK（沖縄放送協会）、沖縄本島一円の本放送を開始。 第7代町長 仲本宗裕就任 台風8号ベティ襲来。災害救助法適用。 与那国町役場庁舎竣工。 屋良主席一行来島。移動県政相談室を開設。 西崎灯台完成。無人灯台で光達距離世界一。 八重山地方庁を八重山支庁と改称。 沖縄県での戦後初の衆議院議員選挙執行。 与那国ターミナル完成。 与那国小学校体育館並びに学校給食共同調理場が落成、祝賀式典挙行。 米国民政府（USCAR）解散。 3月以来無医地区になっていた当町に本土政府派遣の杉山正医師赴任 町営の電気事業、琉球電力会社へ1万8、690ドルで売却。基本料金は半額に、6ヶ月後には24時間送電へ。 与那国町消防庁舎完成。40坪、総工費12、000ドル。 町立診療所落成。 本土復帰。\$を円に切替え。 農業委員会発足。 北帆安灌漑施設（1、800屯）完成。 第8代町長 仲本宗裕就任 与那国製糖（株）与那国農協が買収、地元経営となる。 與那覇しづさん（51歳）吉川英治国民文化賞受賞。															

1949	昭和24	1950	25	1951	26	1952	27	1953	28	1954	29
4月	8月	10月	12月	1月	3月	4月	5月	9月	2月	5月	8月
与那国中学校創立。初代校長 那根亨 ヘイズ道路竣工。 第2代町長 松田長茂就任 与那国警察署設置。 与那国警察の指導で防犯協会発足。初代会長に池間栄三氏、副会長仲本宗裕、大浦太郎の両氏 与那国中学校敷地移転決定。久部良、祖納間（所野）にある与那国中学校は登校不便のため祖納部落東の浦野に移転を決定。又これに伴う久部良分校設立も決めた。 八重山群島政府発足。 琉球臨時中央政府発足。 琉球政府創立。初代行政主席 比嘉秀平氏 教育委員選挙。 八重山地方庁開庁。 第3代町長 生盛栄孝就任 親子ラジオ放送開始。奄美大島日本復帰。 久部良、比川両公民館発足。成人学級を強化。館長に学校長 前竹万之助氏 キット台風与那国を直撃。住家全半壊414戸。比川では集落が浸水、流水家屋や砂に埋れた家もあった。 全島潮ひたしの惨状目をおおう有様。 稲の害虫イエネトロオイ虫全島にまんえん。モミの減収被害こうむる。 与那国一円の消防隊結成。与那国消防隊は久部良にだけ配置されていたが比川、祖納の3集落を1つにすることに決め、募金運動にのりだした。 警察機構改革により八重山地区警察署与那国警部補派出所設置。											

1954	昭和29	1955	30	1956	31	1957	32	1958	33	1959	34	1960	35	1961	36	1962	37	1963	38	1964	39
1	1																				
5	5	5	5	6	6	7	8	8	9	9	9	0	0	1	2	2	3	3	3	4	4
4	29	5	5	6	5	5	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
	1																				

西暦	元号	事項
1975	昭和50	7月 沖縄国際海洋博覧会開幕（本部町）。
1976	51	11月 海洋博出演団50人が出発。 国際海洋博サプス・ベシヤルデー（夕日の広場）で与那国の民俗芸能を披露。
1977	52	1月 祖納港の築港事業起工式。 花火を打ちあげ起工を祝つ。 貢馬灌漑施設（15、000屯）完成。
1978	53	1月 八重山初のライスセンター（粃処理能力24屯／日）落成。
1979	54	2月 第9代町長 外間守之就任。
1980	55	3月 久部良漁港防波堤灯台点灯。
1981	56	3月 北浦野土地改良事業完成。
1982	57	5月1日 早朝、ベトナム難民が漂着。 難民27人、町民の手厚い保護を受ける。
1983	58	9月4日 ベトナム難民86人漂着。
1984	59	立田神灌漑施設（13、000屯）完成。
1985	60	浦野土地改良事業完成。
1986	61	日本最西端の西崎展望台完成。
1987	62	伝統工芸産業振興の為の「与那国町伝統工芸館」落成。
1988	63	祖納田原農地造成事業（2期分）完成。
1989	64	与那国初の町営住宅落成。
1990	65	与那国簡易水道浄水施設工事完成。
1991	66	与那国島線舗装工事（祖納―比川線）完成。
1992	67	台風12号襲来。 最大瞬間風速66・5m。 被害4億円。
1993	68	第10代町長 外間守之就任。
1994	69	久部良漁港修築工事着工。
1995	70	祖納港開港。
1996	71	広報「よなぐに」第1号発刊。

1981	昭和56	11月 与那国町学校給食調理場完成。
1982	57	与那国保険指導所新庁舎落成。
1983	58	台湾との交易開始。（一部物品のみ）
1984	59	台湾省花蓮市と姉妹都市締結。
1985	60	第11代町長 入仲誠三就任。
1986	61	与那国町行政防災無線開局。
1987	62	「与那国島の祭事の芸能」が国の重要無形文化財に指定される。
1988	63	与那国空港800m新滑走路完成、供用開始。
1989	64	「非核平和宣言の町」を宣言。
1990	65	与那国小学校創立100周年。
1991	66	久部良漁港開港。（第4種漁港）
1992	67	製氷・冷凍・給油・荷捌施設等も完成。
1993	68	仲本トミ医輔逝去により久部良診療所閉所となる。
1994	69	台湾漁船、強風のため浦野沖で遭難、船員3名救助1名行方不明。（1／9 遺体収容）
1995	70	救助船員1月9日南西空港機で石垣へ、華僑協会の協力を得て自国へ移送。
1996	71	八重山群島のミカンコミバエ根絶宣言。
1997	72	町議会「那覇―与那国直行使の早期実現に関する要請」決議。
1998	73	与那国町離島振興総合センター落成。
1999	74	与那国空港ターミナルビル建設工事、県単独事業で着工。
2000	75	与那国漁協「漁業従事者研修センター」建設。
2001	76	町内で初めての「交通信号機」設置（祖納）。
2002	77	「与那国島の祭事の芸能」伝承発表会。

1986	昭和61	2月 記録と伝承目的に東、嶋仲公民館、組踊など61種目を熱演。
1987	62	与那国空港1、500m新滑走路完成、供用開始。
1988	63	与那国地域畜産基地事業着工。
1989	64	農用地開発公団工事事務所が開所。
1990	65	町花（ユリ）、町木（クバ）、町鳥（メジロ）、町魚（カジキ）、町花木（サルスベリ）指定。
1991	66	第12代町長 東濱永成就任。
1992	67	町制施行40周年。
1993	68	「与那国織」国の伝統工芸品に指定される。
1994	69	与那国貿易促進委員会を設置。
1995	70	与那国町立診療所新設落成。
1996	71	「花蓮市・与那国町姉妹都市締結記念碑」除幕式を挙行。
1997	72	町制施行40周年記念「第1回与那国島まつり」開催。
1998	73	名誉町民 故 糸数繁 氏顕彰。
1999	74	7日 昭和天皇崩御。
2000	75	8日 元号・平成に改まる。
2001	76	カーフェリー「よなぐに」新造船就航。
2002	77	石垣―与那国間を片道4時間で週2往復就航。
2003	78	与那国島測候所の新庁舎落成。
2004	79	中国廈門市 友好訪問団を派遣。
2005	80	「第1回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」開催。
2006	81	姉妹都市花蓮市へ「文化交流団」派遣。
2007	82	与那国地域畜産基地事業完了。

1991	平成3	5月 名誉町民 西銘順治氏顕彰。
1992	4	第13代町長 後真地秀雄就任。
1993	5	第3セクター「与那国貿易株式会社」設立。
1994	6	豪華客船「飛鳥」寄港。 歓迎セレモニー開催。
1995	7	与那国町の児童生徒による姉妹都市「花蓮市ホームステイ事業」開始。
1996	8	第1回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
1997	9	先島地区民放の放送開始。
1998	10	与那国島の周辺海域が日本の黒潮の源流であること。さらに与那国の南海岸に衝突して二分される黒潮支流の存在確認したうえ、二分された東側の支流は反転し南下していると第11管区海上保安本部が発表。
1999	11	与那国空港「新ターミナルビル」落成。
2000	12	与那国町構造改善センター落成。
2001	1	大型台風13号襲来、災害救助法適用。
2002	2	比川地区多目的集会施設が落成。
2003	3	台風13号襲来。 最大瞬間風速70・2mを記録し、住宅、農作物に甚大な被害をもたらす。 災害救助法適用。
2004	4	与那国町史編纂委員会設置。
2005	5	第14代町長 入仲誠三就任。
2006	6	久部良地区多目的集会施設落成。
2007	7	与那国空港ジェット化促進協議会発足。 会長に尾辻吉兼氏、ジェット化の早期実現を要請。
2008	8	姉妹都市・花蓮市「知音合唱団」来島。 歌や踊りで町民と交流。
2009	9	児童・生徒交流施設落成。
2010	10	与小水泳プール・久中水泳プールが完成。

西暦	元号	月日	事項
1997	平成9	9月	町制施行50周年「第1回スンカニ大会」開催。
		10月	姉妹都市締結15周年記念「花蓮市親善訪問団」派遣。
		12月	与那国町制施行50周年記念式典・祝賀会挙行。
1998	10	1月	与那国町史別巻 記録写真集発刊。
		3月	成人式式典・祝賀会 新成人39人。
		3月	保健センター落成式典。
		3月	緊急用「衛星通信電話」設置。（宝くじ「ミニミニタイ事業」）
		6月	地域安全条例制定。沖縄県警本部長から感謝状受ける。
		8月	第6回友好親善ホームステイ団台湾へ出発。（中学生15名）
		9月	町議会選挙、50年ぶり女性議員誕生。新人3人、計12人
		10月	自治公民館連絡協議会設立。
		11月	第6回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
			150人参加
		12月	琉球新報社移動編集局開催。「21世紀への観光の町」パ ネル「ディスカッション」
			介護保険制度条例化。
1999	11	3月	沖縄タイムス出版文化賞受賞。（団体の部、町史編纂事 務局 特別賞『与那国Ⅱ沈黙の怒涛どうなん100年』・ 個人の部、正受賞「与那国のことば辞典」池間苗 著）
		4月	地域振興券交付事業実施。（商品券1、000円）
			イベント広場落成式・祝賀会。
		5月	クルマエビ養殖場稼働開始。
		7月	第15代町長 尾辻吉兼就任
			第10回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。

1999	平成11		
		11月	YS-11型旅客機最終フライトセレモニー。
			与那国空港ジェット化供用開始式典・祝賀会。
			第7回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
			171人参加
			与那国中学校創立50周年記念式典・祝賀会。
			ミレニアム・カウントダウンコンサート・2000年 開催。
			成人式式典・祝賀会（新成人36人）
			特別養護老人ホーム『月桃の里』開所。
			介護保険制度スタート。
			与那国地区国営かんがい排水事業推進協議会事務所開 設。
			那覇と与那国間直行便就航。（琉球エアークミュー ター社）
			第12代町長 東濱永成氏死去。町民葬行う。
			第4回ドゥナンスンカニ大会開催。
			第5回与那国民族芸能伝承保存会 芸能選賞会開催。
			第8回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
			防災無線通信施設500戸設置。（祖納地区）。
			成人式式典・祝賀会。
			9課体制へ役場機構改革。
			診療所医師2人体制スタート（花村泰範医師着任）。
			第12回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。
			与那国地区かんがい排水事業推進協議会通常総会開催。
			第9回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
			（10kmコース新設。172人参加）
			比川小学校創立100周年記念式典・祝賀会。

2002	平成14	1月	宮良康正氏 平成13年度の沖縄県文化功労受賞祝賀会。
		5月	学校週5日制完全スタート。
			第2回与那国Ⅰ花蓮間友好親善ヨットレース開催。
			介護保険制度保険料見直し。
		7月	ヨナグニサン展示資料館落成。（アヤミハビル館）
		10月	与那国町・花蓮市姉妹都市締結20周年記念式典開催。
		12月	八重山市町合併任意協議会立ち上げ。
2003	15	3月	久部良漁港向け交差点で2機目の信号機設置。
		4月	町史本巻1日本最西端「どうなんちまの地名と風土」 を発刊。（町史編纂事務局）
		5月	小学校3・4年社会科副読本発刊。（町社会科副読本 編纂委員会）
		8月	第16代町長 尾辻吉兼就任
		8月	住基ネットワークシステム第2次サービス開始。
		11月	与那国ラジオ中継局開局。
2004	16	1月	役場の組織を9課体制から4課1室、診療所へ機構改 革。
		3月	地域インターネット中継放送により議会の様子を中継 放送。
		4月	八重山地区民放ラジオ放送中継局の開局式典。
		5月	町史本巻1日本最西端「どうなんちまの地名と風土」 で町と米城恵氏が第23回風土研究賞（日本地名研究所 主宰）受賞。
		10月	「島の将来を考える町民大会」開催。
		11月	与那国島震度5の地震、災害本部立ち上げ。 サース患者搬送防護服着脱の仕方を講話。（八重山福 祉保健所）

2004	平成16	12月	祖納地区の信号機が周期信号へスタート。
		3月	収入役廃止条例可決、仲里正明収入役、崎原用能助役 が任期満了に伴い退任。
2005	平成17	4月	「与那国島自立へのビジョン」を与那国町長へ答申。
			那覇地方法務局与那国出張所が廃止。
			援農隊受け入れ30周年記念式典・祝賀会。
			第1回近畿ツーリストツアー客受け入れ（4月と7月 まで12回チャーター便運航）。
			与那国島測候所空港分室存続要請へ。
			役場機構改革で班制度スタート。
			第15・16代町長 尾辻吉兼急死。7/28町民葬。
			第17代町長 外間守吉就任
			沖縄県農業協同組合 与那国支店へ移行。
			故・尾辻吉兼町長叙勲伝達式。
			ごみ最終処分場の地鎮祭。
			第13回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
			町民文化祭開催。（生涯フェスティバル、第8回ドゥ ナンスンカニ大会合同開催）
			与那国小学校創立120周年記念式典・祝賀会。
			久部良小学校創立80周年記念式典・祝賀会。
			ADS-Lサービス及びブロードバンドサービス開始。
			第17回日本最西端国際カジキ釣り大会開催。
			第1回国境交流増大戦略会議開催、姉妹都市国境交流 「基本合意2006」調印式。
			第14回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。
			ちゅら島事業海岸クリーンアップ交流イベントを実施。

西暦	元号	月日	事項
2006	平成18		与那国町伝統伝承芸能保存会50周年記念式典・祝賀会。 社団法人地域医療振興協会と診療支援事業締結。
2007	19	1月	成人式式典・祝賀会。（新成人32名） 久部良中学校創立50周年記念式典・祝賀会。 与那国空港2、000m滑走路供用開始セレモニー。 与那国リサイクルセンター稼働、ゴミ分別収集開始。 与那国町活性化施設オープン。 台湾与那国事務所開所。 役場機構改革 空港課設置5月1日付け。 飲酒運転根絶町民総決起大会開催。 第18回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。 波多橋落成。渡り初め式挙行（崎原孫幸氏家族三世代が渡った）。
		10月	台湾・台北く和那国間チャーター便初就航。（与那国町・花蓮市姉妹都市締結25周年記念式典開催128人の訪問団台湾へ） 台風15号襲来。（最大瞬間風速60・2メートル記録）。 町制施行60周年記念「与那国の祭事と芸能」開催。（自治公民館主催） 久部良家住宅主屋・石垣 国指定登録有形文化財の指定を受ける。 人権啓発講演事業で「仲田幸子のお笑い」演芸開催500人の町民来場。 米城恵氏が第23回八重山毎日文化賞を受賞。 町制施行60周年記念式典・祝賀会64人が功労賞受賞。 第1回お魚フェア開催大盛況（漁協主催）
		11月	
		12月	

2008	平成20	1月	成人式式典・祝賀会。（新成人28名） 東迎家住宅主屋・水タンク・石垣・井戸・イチタライ国指定登録有形文化財の指定を受ける。 人間国宝金城次郎氏と長男金城敏夫さんの作品（壺）が寄贈される。 与那国島さとうきび生産振興対策室開所式。（JA製糖工場内で） 第19回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。 与那国史編纂委員辞令交付。 与那国島側候所64年間の観測所を9/30に閉所。無人化となる。「与那国島特別地域気象観測所」と変わる。 第16回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。参加者10kmコース162名、24kmコース135名 成人式式典・祝賀会開催。（新成人31名） 道路整備の充実を求める要請活動（三市町長 東京へ） 戸籍事務電算化稼働式。 第20回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会。 第18代町長 外間守吉就任 第17回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。参加者10kmコース164名、24kmコース143名 成人式式典・祝賀会開催。（新成人35名） 与那国中学校創立60周年記念式典・祝賀会開催。 平成21年度町民文化祭開催（2/13く2/14）与中体育館 旅券事務の移譲。（4/1からパスポート申請開始） 污水处理施設が稼働。 第21回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。 石垣島かつおだし与那国工場落成式・祝賀会開催。
2010	22	1月	
		11月	
		8月	
		7月	
		6月	
		5月	
		1月	
		11月	
		9月	
		7月	

2010	平成22	9月	健康おきなわ21推進大会in与那国開催。（与中体育館） 与那国太陽光発電実証研究設備竣工式。 第18回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。参加者10kmコース160名、24kmコース140名（八重山は一つを合言葉に三首長完走） 成人式式典・祝賀会開催。（新成人31名） 与那国町総合計画審議会開催。 と蓄場増改修工事完成。（簡易と蓄場から一般食肉処理場へ格上げとなる） 与那国町複合型公共施設完成。 久部良漁港休憩所完成。 比川地域共同売店完成。 3月 比川地域共同売店完成。 4月 学童保育「どんな児童クラブ」開所。（複合型施設内） 5月 「エトピリカ文庫」開所 日本の国境や境界地域に関する資料を寄贈。（北海道大学スラブ研究センターの岩下明裕教授の呼びかけで根室市に初めて開所。当町は4カ所目）。複合型施設に置く。 9月 各小中学校へ英語アドバイザーを配置。 「日台黒潮永泳断チャレンジ2011」開催。5人スイマーがナーマ浜から台湾に向け出発した。 農業委員選挙18年ぶりに行われる。 第12回ドゥナンスンカニ大会開催。歌唱の部チャンピオン 与那覇有羽氏・歌詞の部最優秀 村本章氏 町営学習塾がスタート。 地域医療振興協会へ与那国町診療を指定管理委託。 第19回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。24kmコース132人、10kmコース225人参加。
2011	23	1月	
		2月	
		3月	
		4月	
		5月	
		9月	
		10月	
		11月	

2011	平成23	12月	住宅用火災警報器を全世帯へ無料配布。（消防法改正に伴い） 比川地域共同売店オープンセレモニー・祝賀会。 成人式式典・祝賀会開催。（新成人29名） 大勢の観光客が来島。JTA26便増便とクルーズ船につぼん丸、ばしふいつくびいなす号寄港。（1月く4月まで2、000人余り） 久部良小学校体育館落成式典・祝賀会。 八重山の海びらき2012in与那国島で初開催。 与那国町・花蓮市姉妹都市締結30周年記念式典。 台湾・花蓮市友好姉妹都市締結30周年記念事業。（台湾へ訪問団130人が訪問）（9/20く23） 成人式式典・祝賀会。（新成人18名） 第13回ドゥナンスンカニ大会開催。 JTA撤退のため、RACによる単独運航となる。 第19代町長 外間守吉就任 町史第三巻 歴史編「黒潮の衝撃派西の国境どうなんの足跡をひもとく」発行 4冊目となる。 第21回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。 交通安全の碑建立。 成人式式典・祝賀会。 町主催 自衛隊誘致関連説明会開催。 与那国沿岸監視部隊配置に伴う造成工事起工式。 祖納保育所開所式。 第25回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。（サブイベント闘牛大会開催） ケアセンターがندوق開所式。
2012	24	1月2日	
		2月	
		3月	
		4月	
		9月	
		1月	
		8月28日	
		11月11日	
		12月	
		1月	
		2月4日	
		4月19日	
		6月2日	
		7月	
		1日	

西暦	元号	事項
2014	平成26	10月2日 感染症患者移送対策訓練。(消防団及び診療所、八重山保健所外) 10日 飲酒運転根絶宣言書提出式。 11月8日 第22回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。過去最多620人 17日 臨時議会開会。(与那国島へ「自衛隊基地建設」の民意を問う住民投票に関する条例について賛成多数で可決される。)
2015	27	12月7日 八重山圏域3市町の歩みパネル・映像展。(自治100周年記念) 1月2日 成人式式典・祝賀会。(新成人20名) 2月 自衛隊基地建設に伴う民意を問う住民投票実施。 3月 D i D i与那国交流館 プレオープン企画第一弾開催。 22日 八重山の海びらき開催。(ナーマ浜) 4月8日 与那国駐屯地建築地鎮祭。 15日 クルーズ客船「につぼん丸」寄港。寄港セレモニーが祖納港で開催。 5月1日 製糖工場起工式。 6月9日 県防災司令センター使用開始。 10日 与那国小学校130周年記念鼓笛隊パレード。 7月3日 第26回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。 8月3日 プレミアム商品券」発売セレモニー 7日 台風13号襲来。(最大瞬間風速64・7m) 十山御嶽、屋根が崩壊。 9月19日 花蓮市サンバカーニバルへ参加。 28日 台風21号襲来。(最大瞬間風速81・1m) 島内全域に甚大な被害をもたらす。

2015	平成27	10月23日 第1回与那国町庁舎建設検討委員会。
2016	28	11月14日 第23回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。 1月4日 成人式式典・祝賀会。(新成人27名) 1月15日 与那国町新製糖工場落成式。 3月18日 R A C新機種お披露目式。 3月28日 陸上自衛隊与那国部隊新編に伴う隊旗授与式。 30日 消防救急指令センター開所式。 4月8日 離島地区海底ケーブル敷設工事安全祈願祭。 4月15日 R A C初便就航便歓迎セレモニー。 17日 公民館役員、町民有志により十山御嶽解体。 7月1日 第27回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。 5日 十山御嶽完成、引き渡し式。 9月17日 台風16号襲来。(最大瞬間風速66・8m) 23日 与那国町歴史文化交流資料館開館式典・祝賀会(D i D i与那国交流館)。 11月12日 第24回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。 1月4日 成人式式典・祝賀会。(新成人25名) 10日 海底ケーブル開通記念式典。 2月4日 東地区どうらいどうぐる落成式。 4月13日 クルーズ客船「につぼん丸」寄港。 7月7日 第28回日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会開催。 8月27日 町陸上(第82回)・少年陸上(第68回)初の合同開催。 8月28日 第20代町長 外間守吉就任 9月15日 クシテイの日(12月の第2日曜日)制定。 11月11日 第25回日本最西端与那国島一周マラソン大会開催。

2020年 沖縄県与那国町 町勢要覧

日本最西端の島 よなぐに

発行：令和2年2月

企画・編集：与那国町役場 企画財政課

〒907-1801

沖縄県八重山郡与那国町字与那国129

TEL.0980-87-2241

FAX.0980-87-2079

http://www.town.yonaguni.okinawa.jp

制作・印刷：丸正印刷株式会社